

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、本要項に記載する試験実施日程、
選抜方法等をやむを得ず変更する場合があります。
変更する場合は、本学ホームページ等でお知らせいたしますのでご留意願います。

令和5年度
(2023年度)

学生募集要項

(総合型選抜)



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

目 次

令和5年度総合型選抜の主な変更点	3
新型コロナウイルス等の感染拡大防止の対応について	8
健康状態確認シート	9
1. アドミッション・ポリシー	10
2. 募集人員・実施日程	17
3. 出願要件・選抜方法等	18
4. 出願手続	29
5. 第1次選考結果等について	35
6. 第2次選考の試験日時・試験場	36
7. 第2次選考の受験に際しての注意事項	37
8. 不正行為について	38
9. 試験場までの交通機関	39
10. 障がい等のある入学志願者との事前相談	41
11. 個別の入学資格審査	41
12. 長期履修制度	43
13. 合格通知書の発送	44
14. 入学手続等	44
15. 学生寮への入居（多文化社会学部へ入学する者）	45
16. 総合型選抜志願者の一般選抜等への出願	46
17. 問い合わせ先	46
18. 個人情報の取扱	46
19. 安全保障輸出管理について	46
20. 入試情報の提供	
(1) 個人成績	47
(2) 採点・評価基準	48
(3) 合否判定基準	50
(4) 令和4年度総合型選抜実施状況	51
21. パソコン必携制度のご案内	52
22. 出願書類作成上の注意事項	53
* 大学入学共通テスト指定教科・科目確認表（総合型選抜Ⅱ）	75

添 付 書 類 等（54ページ～74ページ）	
※ 実際の出願書類提出はHPに掲載している様式を利用してください。	
1.	出願書類提出用表紙
2.	「自己推薦書」，「諸活動の記録」記載要領
	(1) 多文化社会学部・総合型選抜Ⅰ
	(2) 経 済 学 部・総合型選抜Ⅰ
	(3) 工 学 部・総合型選抜Ⅰ
	(4) 水 産 学 部・総合型選抜Ⅰ
	(5) 教 育 学 部・総合型選抜Ⅱ
	(6) 経 済 学 部・総合型選抜Ⅱ
	(7) 歯 学 部・総合型選抜Ⅱ
3.	共通様式
	自己推薦書 様式1（全学部）
	諸活動の記録 様式2-i，ii（多文化社会，教育，経済（総合型選抜Ⅱ），水産学部）
	諸活動の記録 様式2-iii（多文化社会，教育，経済（総合型選抜Ⅱ），水産学部）
	諸活動の記録 様式2-iv（教育学部）
	課題研究報告書（多文化社会学部：グローバル枠）
	活動報告書（経済学部 総合型選抜Ⅰで調査書が提出できない者）

令和5年度総合型選抜の主な変更点

I 経済学部の募集人員増について（文部科学省と協議中）

（以下の内容は、概算要求事項のため、変更の可能性があります。なお、決定次第本学ホームページ（入試情報サイト）で公表いたします。）

【経済学部】

総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅱの募集人員を次のとおり変更します。

入試区分	令和5年度	令和4年度
	募集人員	募集人員
総合型選抜Ⅰ	<u>20</u>	<u>5</u>
総合型選抜Ⅱ	<u>25</u>	<u>10</u>
計	<u>45</u>	<u>15</u>

II その他の変更点について

前述Ⅰ以外の主な変更点は以下のとおりです。

【多文化社会学部】

募集人員の変更

総合型選抜Ⅰの募集人員を次のとおり変更します。

<令和4年度>

コース名	総合型選抜Ⅰ	
	一般枠	グローバル・国際 バカロレア枠
国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	<u>8</u>	<u>4</u>
オランダ特別コース	<u>2</u>	<u>1</u>
計	<u>10</u>	<u>5</u>



<令和5年度>

コース名	総合型選抜Ⅰ	
	一般枠	グローバル・国際 バカロレア枠
国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	<u>10</u>	<u>2</u>
オランダ特別コース	<u>3</u>	<u>募集停止</u>
計	<u>13</u>	<u>2</u>

【経済学部】

(1) 出願要件及び選抜方法等の変更

総合型選抜 I の出願要件及び選抜方法等を次のとおり変更します。

<令和4年度>

出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 高等学校又は中等教育学校における専門教育を主とする学科又は総合学科を令和2年4月以降に卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者、あるいは特別支援学校の高等部を令和2年4月以降に修了した者及び令和4年3月に修了見込みの者。ただし、以下の(1)から(5)までのいずれかに該当する者には出願資格がない。</p> <p>(1) 普通科を卒業又は修了した者及び卒業又は修了見込みの者</p> <p>(2) 国語を主とする学科、系等において、下表の数学及び英語のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）</p> <p>(3) 理数を主とする学科、系等において、下表の国語及び英語のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）</p> <p>(4) 外国語又は国際関係を主とする学科、系等において、下表の国語及び数学のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）</p> <p>(5) 専門教育を主とする学科、系等（国語、理数、外国語又は国際関係を主とする学科、系等を除く。）又は総合学科において、下表の国語、数学及び英語のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">教科</th> <th style="text-align: center;">科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">国語</td> <td>国語総合(又は国語表現)、現代文B、古典B(又は古典A)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">数学</td> <td>数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">英語</td> <td>コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 高等専門学校第3年次を令和2年4月以降に修了した者及び令和4年3月修了見込みの者</p>	教科	科 目	国語	国語総合(又は国語表現)、現代文B、古典B(又は古典A)	数学	数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B	英語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ
教科	科 目								
国語	国語総合(又は国語表現)、現代文B、古典B(又は古典A)								
数学	数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B								
英語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ								
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文及び個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、課題論文又は個人面接のいずれかの点数が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。</p> <p>1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、課題論文及び個人面接を課し、評価する。</p>								



<令和5年度>

出願要件	<p>次のいずれかに該当し合格した場合は入学を確約できる者</p> <p>1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月修了見込みの者</p> <p>2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者</p> <p>3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者</p> <p>5. 文部科学大臣の指定した者</p> <p>6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で令和5年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの。</p>
選抜方法等	<p>自己推薦書、調査書（調査書が提出できない者については、活動報告書）、筆記試験、プレゼンテーション型面接（口頭試問を含む。）の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、筆記試験又はプレゼンテーション型面接の点数が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。</p> <p>1. 第1次選考 自己推薦書、調査書（または、活動報告書）等により選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、筆記試験及びプレゼンテーション型面接（口頭試問を含む。）を課し評価する。</p> <p>① 筆記試験：高校までの学習を前提とした、論理的に分析・思考して結論を導く能力を問う数理に関する基礎的な問題を課す。</p> <p>② プレゼンテーション型面接（注）：予め提示されたテーマについて、プレゼンテーションを行い、その後、プレゼンテーションの内容及び提出された書類による質疑応答を行う（20分程度）。</p> <p>（注）プレゼンテーションのテーマ及び要領等については、第1次選考合格者への合格通知と併せて送付する。</p>

(2) 採点・評価基準の変更

総合型選抜Ⅰの採点・評価基準を次のとおり変更します。

- (旧) 1. 第1次選考
自己推薦書, 諸活動の記録, 調査書により, コミュニケーション力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。
2. 第2次選考
課題論文により, 基礎的学力, 論理的思考力, コミュニケーション力等を評価し, 個人面接により, コミュニケーション力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。
- (新) 1. 第1次選考
自己推薦書, 調査書 (調査書が提出できない者については, 活動報告書)により, 基礎的学力, 論理的思考力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。
2. 第2次選考
筆記試験により, 基礎的学力, 論理的思考力等を評価し, プレゼンテーション型面接 (口頭試問を含む。)により, 論理的思考力, コミュニケーション力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。

(3) 合否判定基準の変更

総合型選抜Ⅰの合否判定基準を次のとおり変更します。

- (旧) (1) 課題論文及び個人面接の総得点により順位づけし, 高得点順に合格者を決定する。ただし, 課題論文又は個人面接のいずれかの点数が著しく低い者については, 個別に審査して合否を決定する。
- (2) 略
- (新) (1) 筆記試験及びプレゼンテーション型面接の総得点により順位づけし, 高得点順に合格者を決定する。ただし, 筆記試験又はプレゼンテーション型面接のいずれかの点数が著しく低い者については, 個別に審査して合否を決定する。
- (2) 略

【歯学部】

(1) 採点・評価基準の変更

総合型選抜Ⅱの採点・評価基準を次のとおり変更します。

- (旧) 1. 第1次選考
略
2. 第2次選考
個人面接を課し, 歯学部ゼミナール, 大学入学共通テストの成績, 自己推薦書, 調査書と併せて総合的に評価する。
- (新) 1. 第1次選考
略
2. 第2次選考
面接を課し, 歯学部ゼミナール, 大学入学共通テストの成績, 自己推薦書, 調査書と併せて総合的に評価する。

(2) その他の変更

総合型選抜Ⅱの面接方法を個人又はグループに変更します。

【工学部】

(1) 選抜方法の変更

総合型選抜 I（第 2 次選考）における適性評価及び基礎学力評価を次のとおり変更します。

1. 適性評価

<令和 4 年度>

コース	形態・内容等	評価事項等
機械工学	個人面接（口述試験）	アドミッション・ポリシーとともに、本コースの特徴を理解しているか等を問う。また、分野関心度、論理的な発想の豊かさ等を評価。
電気電子工学	個人面接（口述試験）	面接では、本コースへの理解度、関心度、志望動機を評価。
構造工学	個人面接（口述試験）	志望動機、分野関心度、論理的思考力、発想の豊かさ等を総合的に評価。
社会環境デザイン工学	個人面接（口述試験）と課題作文	分野関心度、論理的思考力、発想の豊かさ等を問い、志望動機及び適性を評価。
化学・物質工学	個人面接（口述試験）と課題作文	本コースの特徴を理解しているか等を問う。また、志望動機、分野関心度、論理的思考、発想の豊かさ、課題解決能力と作文力を評価。



<令和 5 年度>

コース	形態・内容等	評価事項等
機械工学	個人面接（口述試験）	アドミッション・ポリシーとともに、本コースの特徴を理解しているか等を問う。また、分野関心度、論理的な発想の豊かさ等を評価。
電気電子工学	個人面接（口述試験）	面接では、本コースへの理解度、関心度、志望動機を評価。
構造工学	個人面接（口述試験）	志望動機、分野関心度、論理的思考力、発想の豊かさ等を総合的に評価。
社会環境デザイン工学	個人面接（口述試験）と課題作文	分野関心度、論理的思考力、発想の豊かさ等を問い、志望動機及び適性を評価。
化学・物質工学	個人面接（口述試験）	本コースの特徴を理解しているか等を問う。また、志望動機、分野関心度、論理的思考、発想の豊かさ、課題解決能力を評価。

2. 基礎学力評価

<令和 4 年度>

コース	形態・内容等	評価事項等
機械工学	個人面接（口述試験）	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ）・物理（物理基礎、物理の「様々な運動」と「波」）・英語（基礎的英単語、短文和訳）の基礎学力。
電気電子工学	基礎学力テスト	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ）・物理（物理基礎、物理の「様々な運動」、「電気と磁気」）・英語（基礎的英単語、短文和訳）の基礎学力。
構造工学	個人面接（口述試験）	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ）・物理（物理基礎（熱・波・電気を除く「物体の運動とエネルギー」）、物理「様々な運動」）・英語（英文和訳）の基礎学力。
社会環境デザイン工学	基礎学力テスト	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ（募集区分Bについては数Ⅲを除く。））・物理（物理基礎の「物体の運動とエネルギー」、物理の「様々な運動」）・英語の基礎学力。
化学・物質工学	個人面接（口述試験）と基礎学力テスト	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ）・物理（物理基礎、物理）・化学（化学基礎、化学）・英語（英文和訳、和文英訳、語彙等）の基礎学力。



<令和 5 年度>

コース	形態・内容等	評価事項等
機械工学	基礎学力テスト(筆記試験)	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ）・物理（物理基礎、物理の「様々な運動」と「波」）・英語の基礎学力。
電気電子工学		数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ）・物理（物理基礎、物理の「様々な運動」、「電気と磁気」）・英語の基礎学力。
構造工学		数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ）・物理（物理基礎（熱・波・電気を除く「物体の運動とエネルギー」）、物理「様々な運動」）・英語の基礎学力。
社会環境デザイン工学		数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ（募集区分Bについては数Ⅲを除く。））・物理（物理基礎の「物体の運動とエネルギー」、物理の「様々な運動」）・英語の基礎学力。
化学・物質工学		数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ）・物理（物理基礎、物理）・化学（化学基礎、化学）・英語の基礎学力。

(2) 採点・評価基準の変更

総合型選抜 I の採点・評価基準を次のとおり変更します。

- (旧) 1. 第1次選考
略
2. 第2次選考
(1) 略
(2) 個人面接（口述試験）又は基礎学力テスト（コースによってはそれぞれを組合せる）で、教科に関する基礎学力や、志望コースの専門分野に関連する理科の科目等の基礎学力を総合的に評価する。調査書の各科目の学習成績の状況（評定平均値）も総合評価の参考にする。
- (新) 1. 第1次選考
略
2. 第2次選考
(1) 略
(2) 基礎学力テスト（筆記試験）で、教科に関する基礎学力や、志望コースの専門分野に関連する理科の科目等の基礎学力を総合的に評価する。調査書の各科目の学習成績の状況（評定平均値）も総合評価の参考にする。

上記以外の入試の詳細は、本冊子の関係ページで確認してください。

【新型コロナウイルス感染症対策に伴う変更について】

入学者選抜要項（大綱）に掲載されている実施日程を以下のとおり変更します。

なお、本募集要項の実施日程は変更後のものとなっております。

区分	学部名	出願期間	第1次選考日	第1次選考結果発送	第2次選考日	合格者発表	入学手続締切
総合型選抜 I	多文化社会学部	変更なし	/	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
	経済学部						
	工学部						
	水産学部						
総合型選抜 II	教育学部	変更なし	/	変更なし	変更なし	2/13(月)	2/20(月)
	経済学部						
	歯学部		変更なし				

新型コロナウイルス等の感染拡大防止の対応について

新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、受験に当たっては、以下のことに留意してください。

- 発熱、咳等の症状がある場合には、予め医療機関で受診を行ってください。
- 新型コロナウイルスに罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者及び海外から入国し、入国後の待機期間中の者は、受験できません。
- 試験前日において、①本人が PCR 検査対象となっている場合、②同居家族等が濃厚接触者となっている場合、③同居家族等が PCR 検査対象となっている場合は、別室での受験となりますが、受験上の不利益はありませんので、必ず事前に問い合わせ先に連絡してください。
- 試験日の2週間前から毎日、別紙「健康状態確認シート」に体温、症状の有無を記入し、試験当日に持参してください。持参を忘れた場合、受験ができなくなることがありますので、ご注意ください。
- 試験当日、受験者は、試験場内では昼食時を除き、必ず不織布マスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。なお、事情により不織布マスクの着用が困難な場合は、予め問い合わせ先に連絡してください。
- 試験当日、発熱や咳等の症状がある場合には、すみやかに監督者等の本学関係者に申し出てください。なお、発熱や症状によっては、別室での受験となりますので、ご承知おきください。
- 試験当日は、試験室の換気のため、窓等の開放を行いますので、冬季においては、上着など暖かい服装を持参してください。
- 昼食については、食堂等の開放は行いませんので、昼食を持参し、自席など監督者等から指示された場所で食事をしてください。また、休憩時間や昼食等において他者との接触、会話は極力避けてください。
- 試験時間中に、写真票と受験票の写真及び受験者本人を確認する場合など、監督者から不織布マスクを一旦取り外すよう指示することがありますので、その際は、指示に従ってください。
- 試験当日、受験者以外の者は、試験場内へ入構することはできませんので、ご理解とご協力をお願いします。
- 日頃から感染予防のため、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動・休養・睡眠など体調管理に心掛けてください。

本件に関するお問い合わせ先
長崎大学学生支援部入試課
TEL 095-819-2113

健康状態確認シート
Health Check Sheet

学部 Faculty/School	受験番号 Examinee ID	氏名 name
----------------------	---------------------	------------

※ 試験当日に試験監督者等からの指示に従って提出してください。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	記入例 example entry
	1st day	2nd day	3rd day	4th day	5th day	6th day	7th day	8th day	9th day	10th day	11th day	12th day	13th day	14th day	15th day	
体温 body temperature	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
のどの痛み sore throat	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
鼻水 nasal discharge	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
せき cough	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
下痢 diarrhea	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
鼻詰りが無いのに臭いや味 がしない unexplained loss of smell or taste	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-

+ : あり Yes
- : なし No

1. アドミッション・ポリシー

〔全学共通のアドミッション・ポリシー〕

長崎大学は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門的な知識や技術の習得に必要な知識・技能・理解の基礎が充実している。
- ・ ものごとの本質を学修するために必要となる基礎的な論理的・批判的思考力，判断力がある。
- ・ 日本語・英語・その他の外国語で積極的にコミュニケーションを行おうとする姿勢とその基盤となる基礎的な言語運用力を持っている。
- ・ 自ら考えようとする態度がある。
- ・ 自らを高めるために継続的に学ぼうとする態度・意欲がある。
- ・ 多様性を認め，他者と協働しようとする態度がある。
- ・ 国際社会，地域社会への関心を持っている。

本学では，これらの資質・素養を大学入学共通テスト，個別試験，調査書，小論文・課題論文，実技，面接等により総合的に評価し，入学者の選抜を行います。

〔多文化社会学部のアドミッション・ポリシー〕

多文化社会学部は、全学共通のアドミッション・ポリシーに加えて、学部の教育理念，教育研究上の目的，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえて，入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の基礎的・基本的知識を有している。
- ・ 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
- ・ 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ，それらについて批判的に思考できる基礎を有する。
- ・ 世界の多文化状況を客観的に捉え，見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる基礎を有する。
- ・ 自らの考えを整理し，表現するライティング能力（文章力）を有する。
- ・ 多様な人々と共生的な関係を築き，協働する為に必要なコミュニケーション能力・自己表現力の基礎を有する。
- ・ 世界の多文化状況や異文化交流に興味・関心を持ち，グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	語学力(英語) (知識・技能) (思考力等)	批判的・論理的 思考力 (思考力等) (主体性等)	ライティング 能力 (知識・技能)	コミュニケーション・自己表現能力 (思考力等) (主体性等)	多文化状況への 興味・関心 (思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程 (4コース)	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
	前期日程 (オランダ)	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
総合型 選抜 I	一般枠 (4コース, オランダ)	筆記試験			◎	○		
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
	グローバル・国際バカ ロレア枠 (4コース)	筆記試験			◎	○		
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
学校推薦型選抜II (4コース)	共通テスト	◎	◎					
	推薦書	○	○			○	○	
	志望理由書					◎	◎	
	調査書	○	○			○	○	
	面接		○	◎		◎	◎	
帰国生徒選抜	提出書類	◎	○					
	面接	○	○	◎	○	○	◎	
外国人留学生選抜	提出書類 (日本留学試験を含む)	◎	○					
	面接	○	○	◎	○	○	◎	

【教育学部のアドミッション・ポリシー】

教育学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- ・ 専門的な学修に必要な基礎的な論理的・批判的思考力や判断力，表現力がある。
- ・ 幼児・児童・生徒および保護者，同僚その他の人々との良好な対人関係を構築するために必要な非言語的要素を含むコミュニケーション能力がある。
- ・ 主体的に学修を継続し，発展させようとする意欲と態度がある。
- ・ 現代の教育課題への関心を持ち，教職を志望している。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

【小学校教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・ 表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○			
	自己推薦書				○	
	諸活動の記録				○	
	調査書	○			○	
	面接			◎	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎				
	小論文			◎		
	推薦書				○	
	志望理由書				○	
	調査書	○			○	
	面接			◎	◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	○				
	面接		○	◎	◎	

【経済学部のアドミッション・ポリシー】

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 基礎的学力が身についている。
- ・ 論理的思考力が身についている。
- ・ 英語を含むコミュニケーション力が身についている。
- ・ 強い学習意欲、主体性や行動力がある。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎的学力が身についている (知識・技能)	論理的思考力が身についている (思考力等)	コミュニケーション力が身についている (思考力等)	学習意欲、主体性や行動力がある (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	○	
		個別学力検査	○	◎	◎	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
	後期日程	共通テスト	◎	○	○	
		小論文	○	◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
総合型選抜Ⅰ	筆記試験		◎			
	自己推薦書			○	◎	
	調査書				○	
	面接 (プレゼンテーション型)			◎	◎	
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	○	○	○		
	自己推薦書				○	
	諸活動の記録				○	
	調査書				○	
	面接				○	
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	◎	○		
	推薦書				○	
	調査書				○	
	面接				○	
外国人留学生選抜	小論文	○	◎	○		
	英語外部試験	○			○	
	日本留学試験	◎			○	
	面接				○	

【歯学部のアドミッション・ポリシー】

【一般コース】

歯学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の修学に要する基礎学力を有している。
- ・ 専門科目の修学に要する思考力，判断力，表現力を有している。
- ・ 歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感を持っている。
- ・ 主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力を有している。

【歯学研究コース】

一般コースに加え，以下の資質・素養を求めます。

- ・ 将来我が国の最先端歯科口腔医療，歯科口腔医学または歯科口腔医学教育を担うことを目指し，本学部卒業後，大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学するための，歯学研究コースを履修することを確約し，遂行する強い意思を持っている。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力，判断力， 表現力 (思考力等)	歯科口腔医学，歯科 口腔医療に対する強 い関心と明確な目的 意識ならびに使命感 (主体性等)	主体性を持って学ぶ 態度と多様な人々と 協働するコミュニケ ーション能力 (主体性等)	最先端歯科医療，歯学 研究，歯学教育を担う ことを目指し，大学院 に進学する強い意思 (主体性等)
一般 選抜	前期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書	○				○
		志願調書				○	
		面接				◎	◎
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	◎				
	歯学部ゼミナール	◎				◎	
	調査書	○					
	自己推薦書				○		
	面接				◎	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	◎				
	小論文		○		○		
	調査書	○					
	推薦書				○	○	
	志望理由書				○	○	
	面接				◎	◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	◎				
	修了(修了見込)証明書 および成績証明書	○					
	個別学力検査	○	◎				
	面接				◎	◎	

【工学部のアドミッション・ポリシー】

工学部は、入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 数学，理科，英語の基礎学力を有している。
- ・ 論理的思考力や読解力を有している。
- ・ 工学に強い関心を持ち，主体的に学修を継続する強い意志と実行力がある。
- ・ 協調性やコミュニケーション能力がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	数学・理科・英語の 基礎学力 (知識・技能)	論理的思考力 読解力 (思考力等)	主体性 実行力 関心度 (主体性等)	協調性・ コミュニケーション能力 (主体性等)	
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書				◎	○
		ペーパー・インタ ビュー				○	◎
	後期日程	共通テスト	◎	○			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書				◎	○
		ペーパー・インタ ビュー				○	◎
総合型選抜 I	基礎学力テスト	◎	○				
	面接（口述試験を 含む）	○	○	○		◎	
	調査書				◎	○	
	自己推薦書				○		
学校推薦型選抜 II	共通テスト	○	○				
	面接				○	◎	
	調査書	○			◎	○	
	志望理由書				○		
	推薦書				○	○	
外国人留学生選抜	面接（口述試験を 含む）	○	○	○		◎	
	日本留学試験	○					
	外部英語検定試験	○					

【水産学部のアドミッション・ポリシー】

水産学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 海洋環境，海洋生物に代表される水圏と社会の関わりに強い関心を持っている。
- ・ 地域の様々な問題に対し地球規模の視野で柔軟に対応できる分野横断的な問題解決能力を獲得する意欲を有している。
- ・ 将来，国内外の第一線で活躍し各分野のリーダーになれるような自主的，主体的学修・研究姿勢を有している。
- ・ 知識偏重ではなく，将来，実社会で活躍できる論理的思考能力を有している。
- ・ 諸課題を解決するために必要な基礎的知識や技能を習得している。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎的知識・技能 (知識・技能)	論理的思考力 (思考力等)	学修・研究姿勢 (主体性等)	問題解決能力 (思考力等)	水圏と社会の関わり への関心 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査	◎	◎			
		調査書	○			○	
		ペーパー・インタビュー				○	○
	後期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査 (総合問題)			○		
		調査書	○			○	
		面接				◎	○
総合型選抜Ⅰ	小テスト	◎		○		○	
	調査書	○					
	諸活動の記録	◎			◎	○	
	課題論文			○		○	
	自己推薦書				○	○	
	面接				◎	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	◎				
	調査書	○					
	推薦書	○		○	○	○	
	志望理由書				◎	○	
	面接				◎	◎	
帰国生徒選抜	小論文	○		◎			
	面接	○		○	◎	◎	
外国人留学生選抜	面接	○		◎	◎	◎	

2. 募集人員・実施日程

区分	学部名	学科等名		募集人員	出願期間	第1次選考日	第1次選考結果発送	第2次選考日	合格者発表	入学手続締切
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部	多文化社会学科	国際公共政策コース	一般枠	10	9月1日(木) ～ 9月7日(水) ※インターネット 出願登録は 8月25日(木) から可能	9月27日(火)	10月15日(土)	11月1日(火)	11月28日(月)
			社会動態コース	グローバル・国際バカロレア枠	2					
			共生文化コース 言語コミュニケーションコース	一般枠	3					
	経済学部	総合経済学科		20	9月20日(火)		10月22日(土)			
	工学部	工学科	機械工学コース	A	-		9月27日(火)	10月14日(金)		
				B	8					
			電気電子工学コース	A	-					
				B	9					
			構造工学コース	A	-					
				B	2					
社会環境デザイン工学コース				A	8					
化学・物質工学コース	A	-								
	B	5								
水産学部	水産学科		5		10月13日(木) 10月14日(金)					
総合型選抜Ⅱ	教育学部	学校教育 教員養成 課程	小学校教育コース	4	9月1日(木) ～ 9月7日(水) ※インターネット 出願登録は 8月25日(木) から可能	9月27日(火)	10月15日(土)	令和5年 2月13日(月)	令和5年 2月20日(月)	
	経済学部	総合経済学科		25	11月8日(火) ～ 11月14日(月)	12月2日(金)	令和5年 1月27日(金)			
	歯学部	歯学科		7	※インターネット 出願登録は 11月1日(火) から可能	11月26日(土) 11月27日(日) (注5)	12月19日(月)			令和5年 1月20日(金)

注1) 総合型選抜Ⅰは大学入学共通テストを課さないもの、総合型選抜Ⅱは大学入学共通テストを課すものを表す。

- 2) 総合型選抜による入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程に加えて選抜する。
- 3) 多文化社会学部の国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定する。
- 4) 教育学部小学校教育コースはコースで募集し、入学後に所属する系を決定する。
- 5) 歯学部において、第1次選考として「歯学部ゼミナール」を実施する。

3. 出願要件・選抜方法等

第2次選考及び大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全科目受験していなければ、合格者とはなれない。また、本学の総合型選抜Ⅱに出願した者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱに出願することはできない。

【多文化社会学部】（一般枠）

【総合型選抜Ⅰ】

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科	
募集人員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	10人
	オランダ特別コース	3人
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT（Special Home Edition 及び Home Edition を含む。）61点以上、TOEFL ITP 500点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定（英検、英検 CBT 又は英検 S-CBT）準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC（4技能版）1140点以上又は TEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者 5. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者 6. 文部科学大臣の指定した者（ただし、国際バカロレア資格等については、令和5年3月31日までに取得見込みの者を含む。） 7. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの <p>注1) 外国語検定試験は、令和2年9月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定（英検）については、二次試験を令和2年9月以降に受験した試験とする。</p> <p>2) 外国語検定試験は公式スコア（TOEFL iBT（Special Home Edition 及び Home Edition を含む。）は Test Date スコアに限る。）を対象（TOEFL ITP を除く。）とし、TOEIC IP は対象としない。</p>	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、個人面接、筆記試験の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、個人面接（日本語及び英語による）及び筆記試験（論理的思考力と洞察力（観察力）を問う）※を行う。 <p>※参考：筆記試験について、令和4年度入試では課題文をもとに小論文試験を行った。</p>	
出願期間	令和4年9月1日（木）～令和4年9月7日（水）	
試験日	第1次選考（書類選考）	選考結果は令和4年9月27日（火）に本人宛送付する。
	第2次選考（筆記試験・面接（個人））	令和4年10月15日（土）
合格者発表	令和4年11月1日（火）	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科			
募集人員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	2人		
出願要件	<p>【グローバル枠】 次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) 人文社会科学の観点からグローバルな課題について、学校教育プログラムにより2年以上にわたり課題研究に取り組み、高等学校又は中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者、あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和5年3月に修了見込みの者 (2) 全体の学習成績の状況が4.0以上であり、かつ、外国語（英語）の学習成績の状況が4.6以上である者</p> <p>【国際バカロレア枠】 次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma (以下「IB」という。))を取得した者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者 (2) IB フルディプロマのスコアが32ポイント以上の者又は令和5年3月31日までにIBを取得見込みの者でIB Predicted Gradesが出願時に32ポイント以上であるもの (3) 日本語を母語とする者、日本語 B (HL) のスコアが6ポイント以上の者又は日本語 B (HL) のIB Predicted Gradesが出願時に6ポイント以上の者 (4) IBの取得において、本学の指定する次表の科目を履修していること。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル(HL)で履修</td> </tr> </table> <p>※ IBを取得見込みで出願した者が、令和5年3月31日までにIB資格証書の写しとIB最終試験の成績証明書を提出できない場合、IBフルディプロマのスコアが32ポイントに満たなかった場合又は日本語B(HL)のスコアが6ポイントに満たなかった場合は、合格取消となる。</p>		科目	6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル(HL)で履修
科目				
6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル(HL)で履修				
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、個人面接、筆記試験の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <p>1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等（グローバル枠の志願者については学校教育プログラムの概要及び所定の様式による志願者の課題研究報告書を含む。）により選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、個人面接（日本語及び英語による）及び筆記試験（論理的思考力と洞察力（観察力）を問う）※を行う。 ※参考：筆記試験について、令和3年度入試では課題文をもとに小論文試験を行った。</p>			
出願期間	令和4年9月1日（木）～令和4年9月7日（水）			
試験日	第1次選考（書類選考）	選考結果は令和4年9月27日（火）に本人宛送付する。		
	第2次選考（筆記試験・面接(個人)）	令和4年10月15日（土）		
合格者発表	令和4年11月1日（火）			
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。			

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程	
募 集 人 員	小学校教育コース	4 人
出 願 要 件	<p>大学入学共通テストで教育学部が指定した教科・科目を受験する者で、次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (本学では、過去の大学入試センター試験及び大学入学共通テストの成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者(ただし、国際バカロレア資格等については、令和5年3月31日までに取得見込みの者を含む。) 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 	
選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、大学入学共通テスト、面接(自己表現を含む。)の結果等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、面接の得点率が20%以下の者は、大学入学共通テストの成績にかかわらず、不合格とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、面接(自己表現を含む。)を課し、大学入学共通テストの成績と合わせて選考を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">【大学入学共通テスト指定教科・科目】</p> <p>国 : 国 地歴 : 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2 公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) } から3 理 : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } (注2) 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。)</p> <p>数 : 数I, 数I・数A } から1 (注3) 数II, 数II・数B, 簿, 情報 } 外 : 英, 独, 仏, 中, 韓から1</p> <p style="text-align: right;">[5教科6科目] 又は [6教科6科目]</p> </div> <p>(注1) 地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 (注2) 地歴・公民及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、地歴・公民及び理科の第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合のみ採用する。 (注3) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。</p>	
出 願 期 間	令和4年9月1日(木) ～ 令和4年9月7日(水)	
試 験 日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は令和4年9月27日(火)に本人宛送付する。
	第2次選考 (面接)	令和4年10月15日(土)
合 格 者 発 表	令和5年2月13日(月)	
そ の 他	<p>小学校教育コース各系(子ども理解系, 教科授業開発系, 離島・地域文化系)への所属は、入学後に、所属系志望調査を行った上で決定する。詳細は、入学後のオリエンテーションで説明する(小学校教育コース各系の説明に関しては、教育学部ホームページを参照すること。)(URL: http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/) 出願書類及び入学試験により取得された個人情報(卒業要件内副免の選考資料)に利用することがある。詳細は、入学後のオリエンテーション等で説明する。</p>	

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科	
募集人員	20人	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月修了見込みの者 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で令和5年3月31日までに18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの。 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、調査書（調査書が提出できない者については、活動報告書）、筆記試験、プレゼンテーション型面接（口頭試問を含む。）の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、筆記試験又はプレゼンテーション型面接の点数が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、調査書（または、活動報告書）等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、筆記試験及びプレゼンテーション型面接（口頭試問を含む。）を課し評価する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 筆記試験：高校までの学習を前提とした、論理的に分析・思考して結論を導く能力を問う数理に関する基礎的な問題を課す。 ② プレゼンテーション型面接（注）：予め提示されたテーマについて、プレゼンテーションを行い、その後、プレゼンテーションの内容及び提出された書類による質疑応答を行う（20分程度）。 <p>（注）プレゼンテーションのテーマ及び要領等については、第1次選考合格者への合格通知と併せて送付する。</p> 	
出願期間	令和4年9月1日（木）～令和4年9月7日（水）	
試験日	第1次選考 （書類選考）	選考結果は令和4年9月20日（火）に本人宛送付する。
	第2次選考 （筆記試験・プレゼンテーション型面接）	令和4年10月22日（土）
合格者発表	令和4年11月1日（火）	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科																	
募集人員	25人																	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、大学入学共通テストを受験する者で、かつ、合格した場合は入学することを確約できるもの (本学では、過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者 2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和3年4月以降に修了した者及び令和5年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を令和3年4月以降に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年4月以降に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、令和3年4月以降に取得した者及び令和5年3月31日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの 																	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、大学入学共通テスト及び個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、大学入学共通テスト又は個人面接のいずれかの点数が著しく低い者については、個別に審査して可否を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、大学入学共通テスト及び個人面接を課し、評価する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【大学入学共通テストの指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国</td> <td style="width: 60%;">： 国</td> <td rowspan="7" style="width: 25%; vertical-align: middle; font-size: 3em;">}</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">から2科目 (注)</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>： 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>： 現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>： 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>： 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。)</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>： 英, 独, 仏, 中, 韓</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">[1教科2科目] 又は [2教科2科目]</td> </tr> </table> </div> <p>(注) 受験している科目をそれぞれ25点満点に換算し、高得点順に2科目を採用する。ただし、地歴・公民及び理科の第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合のみ採用する。</p>		国	： 国	}	から2科目 (注)	地歴	： 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	公民	： 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	： 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報	理	： 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。)	外	： 英, 独, 仏, 中, 韓	[1教科2科目] 又は [2教科2科目]	
国	： 国	}	から2科目 (注)															
地歴	： 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B																	
公民	： 現社, 倫, 政経, 倫・政経																	
数	： 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報																	
理	： 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。)																	
外	： 英, 独, 仏, 中, 韓																	
[1教科2科目] 又は [2教科2科目]																		
出願期間	令和4年11月8日(火) ～ 令和4年11月14日(月)																	
試 験 日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は令和4年12月2日(金)に本人宛送付する。																
	第2次選考 (面接(個人))	令和5年1月27日(金)																
合格者発表	令和5年2月13日(月)																	
そ の 他																		

実施学部・学科名	歯学部 歯学科																		
募集人員	7 人																		
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者、あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和3年4月以降に修了した者及び令和5年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの（本学では、過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯学部歯学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者 2. 本学が開講する歯学部ゼミナールを受講する者 3. 大学入学共通テストで、歯学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者 																		
選抜方法等	<p>自己推薦書，調査書，歯学部ゼミナールの評価及び大学入学共通テストの成績並びに面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として70%に満たない場合は不合格とする。</p> <p>また，第2次選考において，面接の評価が著しく低い場合には，大学入学共通テストの成績，自己推薦書及び調査書の評価結果にかかわらず，不合格とすることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 歯学部ゼミナールの評価により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を課し，歯学部ゼミナール，大学入学共通テストの成績，自己推薦書及び調査書の評価と合わせて選考を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【大学入学共通テスト指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国</td> <td style="width: 45%;">国</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; vertical-align: middle;">} から1 (注)</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理, 化学, 生物 から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏 から1</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div> <p>(注) 地歴・公民を2科目受験している場合は，第1解答科目を採用する。</p>		国	国	} から1 (注)	地歴	世B, 日B, 地理B	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経		数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B		理	物理, 化学, 生物 から2		外	英, 独, 仏 から1	
国	国	} から1 (注)																	
地歴	世B, 日B, 地理B																		
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																		
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B																		
理	物理, 化学, 生物 から2																		
外	英, 独, 仏 から1																		
出願期間	令和4年11月8日(火) ～ 令和4年11月14日(月)																		
試験日	第1次選考 (歯学部ゼミナール)	令和4年11月26日(土)～令和4年11月27日(日) 選考結果は令和4年12月19日(月)に本人宛送付する。																	
	第2次選考 (面接)	令和5年1月20日(金)																	
合格者発表	令和5年2月13日(月)																		
その他	<p>「歯学部ゼミナール」の概要</p> <p>11月26日(土)午後：歯科口腔医学，歯科口腔医療に関する高校生レベルのゼミナールを開講(2～3コマ程度)</p> <p>11月27日(日)午前：前日に開講したゼミナールの理解度を測る評価試験を実施</p>																		

○歯学部第1次選考（歯学部ゼミナール）受験に際しての注意事項

- ① 第1次選考日の前日午後（13時～17時）に歯学部の試験場を確認しておくこと（歯学部までの交通機関及び案内略図は39, 40ページを参照）。
- ② 詳細については、**出願期間最終日の翌日以降に本学HPに掲載予定**。
- ③ 受験者は、11月26日（土）は12時30分までに、11月27日（日）は9時までに**所定の試験室**に入室すること。
- ④ 各日開始後30分以内の遅刻者（入室者）は受験を認めるが、試験時間等の延長はない。30分を超えた遅刻者には受験を認めない。なお、第1次選考の全てを受験しない場合は、第1次選考合格者とはなれない。
- ⑤ 第1次選考日当日は、**出願確認票**及び**健康状態確認シート**（詳細は8ページを参照）を必ず持参すること。
- ⑥ 評価試験時、机の上には、出願確認票、黒鉛筆、シャープペンシル（シャープペンシルの芯可（ケースは不可）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類を除く。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可。線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの（それらの機能の有無が判別しづらいものを含む。）、秒針音のするもの、キッチンタイマー及び大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）及び目薬以外の所持品を置いてはいけない。
- ⑦ 評価試験時、試験室では監督者の指示に従うこと。指示に従わない場合は、不正行為となることがある。また、試験時間中に用があるときは手を挙げること。
- ⑧ 評価試験中の退室はできない。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めるが、試験時間の延長は行わない。
- ⑨ 評価試験時、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、時計等のアラームは設定を解除しておくこと。
- ⑩ 評価試験時、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身につけないこと。身につけていたり手にもっている場合、不正行為となることがある（不正行為の詳細については38ページを参照）。
- ⑪ 評価試験において不正行為を行った受験者は、第1次選考合格者とはなれない。
- ⑫ 受験者は、気象状況、交通状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。
- ⑬ 疾病・負傷又は試験場に向かう途中の事故等の事由による追試験は実施しないが、所定の日程による試験実施が困難となるような次のア～ウの不測の事態が発生した場合は、再試験を実施することがあるので、試験当日の長崎大学ホームページ（<https://www.nagasaki-u.ac.jp>）で詳細について確認すること。
 - ア. 定期運行している交通機関の事故又は災害等で、相当の数の受験者に係るもの
 - イ. 試験開始後の不測の事態
 - ウ. 大規模の災害等
- ⑭ 受験者は、試験場内では必ず不織布マスクを着用すること。
- ⑮ 自動車、バイク等での試験場内への乗り入れを禁止する。また、近隣のコンビニエンスストア等の駐車場へは駐車しないこと。

実施学部・学科名	工学部 工学科		
募 集 人 員	総合型選抜Ⅰ・A	社会環境デザイン工学コース	8人
	総合型選抜Ⅰ・B	機械工学コース	8人
		電気電子工学コース	9人
		構造工学コース	2人
		社会環境デザイン工学コース	5人
		化学・物質工学コース	5人
出 願 要 件	<p>【総合型選抜Ⅰ・A】 次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者、あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校の第3年次を令和3年4月以降に修了した者及び令和5年3月に修了見込みの者 2. 外国において、学校教育における12年の課程を令和3年4月以降に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年4月以降に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者 4. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、令和3年4月以降に取得した者及び令和5年3月31日までに取得見込みの者 5. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 6. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの 		
	<p>【総合型選抜Ⅰ・B】 次の各号に該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校の専門教育を主とする学科又は総合学科を令和3年4月以降に卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者、あるいは特別支援学校の高等部（専門教育を主とする学科）又は高等専門学校の第3年次を令和3年4月以降に修了した者及び令和5年3月に修了見込みの者 2. 出身学校において開設される科目のうち、工業に関する科目を20単位以上修得した者及び令和5年3月までに修得見込みの者（ただし、電気電子工学コースについては、工業又は水産（電気・通信）に関する科目を20単位以上修得した者及び令和5年3月までに修得見込みの者、社会環境デザイン工学コースについては、工業又は農業（土木）に関する科目を20単位以上修得した者及び令和5年3月までに修得見込みの者） 		

選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書，調査書の評価，適性評価，基礎学力評価の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <p>1. 第1次選考 自己推薦書及び調査書により選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して，適性評価として個人面接（コースによっては課題作文を含む。）を行うとともに基礎学力評価として基礎学力テスト（筆記試験）を課す。</p> <p>※ 第2次選考についての各コースの内容は次表のとおりである。</p> <p>・適性評価の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>形態・内容等</th> <th>評価事項等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械工学</td> <td>個人面接(口述試験)</td> <td>アドミッション・ポリシーとともに，本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，分野関心度，論理的な発想の豊かさ等を評価。</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学</td> <td>個人面接(口述試験)</td> <td>面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価。</td> </tr> <tr> <td>構造工学</td> <td>個人面接(口述試験)</td> <td>志望動機，分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を総合的に評価。</td> </tr> <tr> <td>社会環境デザイン工学</td> <td>個人面接(口述試験)と課題作文</td> <td>分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を問い，志望動機及び適性を評価。</td> </tr> <tr> <td>化学・物質工学</td> <td>個人面接(口述試験)</td> <td>本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，志望動機，分野関心度，論理的思考，発想の豊かさ，課題解決能力を評価。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・基礎学力評価の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>形態・内容等</th> <th>評価事項等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械工学</td> <td rowspan="5">基礎学力テスト (筆記試験)</td> <td>数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ)・物理(物理基礎，物理の「様々な運動」と「波」)・英語の基礎学力。</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学</td> <td>数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ)・物理(物理基礎，物理の「様々な運動」，「電気と磁気」)・英語の基礎学力。</td> </tr> <tr> <td>構造工学</td> <td>数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ)・物理(物理基礎(熱・波・電気を除く「物体の運動とエネルギー」)，物理「様々な運動」)・英語の基礎学力。</td> </tr> <tr> <td>社会環境デザイン工学</td> <td>数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ(募集区分Bについては数Ⅲを除く。))・物理(物理基礎の「物体の運動とエネルギー」，物理の「様々な運動」)・英語の基礎学力。</td> </tr> <tr> <td>化学・物質工学</td> <td>数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B)・物理(物理基礎，物理)・化学(化学基礎，化学)・英語の基礎学力。</td> </tr> </tbody> </table>		コース	形態・内容等	評価事項等	機械工学	個人面接(口述試験)	アドミッション・ポリシーとともに，本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，分野関心度，論理的な発想の豊かさ等を評価。	電気電子工学	個人面接(口述試験)	面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価。	構造工学	個人面接(口述試験)	志望動機，分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を総合的に評価。	社会環境デザイン工学	個人面接(口述試験)と課題作文	分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を問い，志望動機及び適性を評価。	化学・物質工学	個人面接(口述試験)	本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，志望動機，分野関心度，論理的思考，発想の豊かさ，課題解決能力を評価。	コース	形態・内容等	評価事項等	機械工学	基礎学力テスト (筆記試験)	数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ)・物理(物理基礎，物理の「様々な運動」と「波」)・英語の基礎学力。	電気電子工学	数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ)・物理(物理基礎，物理の「様々な運動」，「電気と磁気」)・英語の基礎学力。	構造工学	数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ)・物理(物理基礎(熱・波・電気を除く「物体の運動とエネルギー」)，物理「様々な運動」)・英語の基礎学力。	社会環境デザイン工学	数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ(募集区分Bについては数Ⅲを除く。))・物理(物理基礎の「物体の運動とエネルギー」，物理の「様々な運動」)・英語の基礎学力。	化学・物質工学	数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B)・物理(物理基礎，物理)・化学(化学基礎，化学)・英語の基礎学力。
	コース	形態・内容等	評価事項等																															
	機械工学	個人面接(口述試験)	アドミッション・ポリシーとともに，本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，分野関心度，論理的な発想の豊かさ等を評価。																															
	電気電子工学	個人面接(口述試験)	面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価。																															
	構造工学	個人面接(口述試験)	志望動機，分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を総合的に評価。																															
	社会環境デザイン工学	個人面接(口述試験)と課題作文	分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を問い，志望動機及び適性を評価。																															
	化学・物質工学	個人面接(口述試験)	本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，志望動機，分野関心度，論理的思考，発想の豊かさ，課題解決能力を評価。																															
	コース	形態・内容等	評価事項等																															
	機械工学	基礎学力テスト (筆記試験)	数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ)・物理(物理基礎，物理の「様々な運動」と「波」)・英語の基礎学力。																															
	電気電子工学		数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ)・物理(物理基礎，物理の「様々な運動」，「電気と磁気」)・英語の基礎学力。																															
構造工学	数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ)・物理(物理基礎(熱・波・電気を除く「物体の運動とエネルギー」)，物理「様々な運動」)・英語の基礎学力。																																	
社会環境デザイン工学	数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ(募集区分Bについては数Ⅲを除く。))・物理(物理基礎の「物体の運動とエネルギー」，物理の「様々な運動」)・英語の基礎学力。																																	
化学・物質工学	数学(数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B)・物理(物理基礎，物理)・化学(化学基礎，化学)・英語の基礎学力。																																	
出 願 期 間	令和4年9月1日(木) ～ 令和4年9月7日(水)																																	
試 験 日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は令和4年9月27日(火)に本人宛送付する。																																
	第2次選考 (適性評価・基礎学力評価)	令和4年10月14日(金)																																
合 格 者 発 表	令和4年11月1日(火)																																	
そ の 他	入学手続者に対しては，入学までの期間，在学する学校長の許諾を得た上で，入学前教育を行うこととしている。その内容については，合格者発表後に通知する予定である。																																	

実施学部・学科名	水産学部 水産学科	
募集人員	5人	
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校における専門教育を主とする学科又は総合学科を令和5年3月卒業見込みの者又は高等専門学校第3年次を令和5年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業教育に関する教科・科目を20単位以上修得した者及び令和5年3月までに修得見込みの者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、小テスト、面接の結果を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考の学力検査等（課題論文、小テスト及び面接）において、いずれかの評価が著しく低い場合には、総得点にかかわらず、不合格とすることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、課題論文、小テスト（論理的思考能力及び英語に関する基礎学力を問う）及び面接を行う。 	
出願期間	令和4年9月1日（木）～令和4年9月7日（水）	
試験日	第1次選考 （書類選考）	選考結果は令和4年9月27日（火）に本人宛送付する。
	第2次選考 （課題論文・小テスト・面接）	令和4年10月13日（木）・14日（金）
合格者発表	令和4年11月1日（火）	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

* 総合型選抜の第2次選考における実施教科・科目等及び配点

区分	学部学科等名	大学入学共通テスト・学力検査等の配点等																	
		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	筆記試験	課題論文	歯学部ゼミナール	適性評価(注4)	基礎学力評価(注4)	小テスト	自己推薦書	調査書	配点計	
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部	多文化社会学科(一般枠)	共通テスト																
			学力検査等							50	100								150
		計							50	100								150	
	多文化社会学科(グローバル・国際バカロレア枠)	共通テスト																	
		学力検査等								50	100							150	
		計								50	100							150	
総合型選抜Ⅱ	教育学部	小学校教育コース	共通テスト	200														900	
			学力検査等							200									200
			計	200						200									1100
総合型選抜Ⅰ	経済学部	総合経済学科	共通テスト																
			学力検査等							70	30								100
			計							70	30								100
総合型選抜Ⅱ	経済学部	総合経済学科	共通テスト	*25	*25	*25	*25	*25										50	
			学力検査等							50									50
			計	*25	*25	*25	*25	*25		50									100
総合型選抜Ⅱ	歯学部	歯学科	共通テスト	100	50	200	250	250										850	
			学力検査等							100		200					50		350
			計	100	50	200	250	250		100		200				50			1200
総合型選抜Ⅰ	工学部	機械工学コース	共通テスト																
			学力検査等											100	100				200
			計											100	100				200
		電気電子工学コース	共通テスト																
			学力検査等											100	100				200
			計											100	100				200
		構造工学コース	共通テスト																
			学力検査等											100	100				200
			計											100	100				200
		社会環境デザイン工学コース	共通テスト																
			学力検査等											100	100				200
			計											100	100				200
化学・物質工学コース	共通テスト																		
	学力検査等											100	100				200		
	計											100	100				200		
総合型選抜Ⅰ	水産学部	水産学科	共通テスト																
			学力検査等							40	20					40		100	
			計							40	20					40		100	

注1)「総合型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないもの、「総合型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものを表す。

2) 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

3) 大学入学共通テストの配点は、配点等欄のとおり換算して利用する教科等がある。ただし、外国語(英語)はリーディング(160点満点)とリスニング(40点満点)の4:1の比率に変更し、その合計得点を配点等欄のとおり換算して利用する。なお、リスニング免除者においては、リーディング(100点満点)を2倍したものを外国語の得点とし、各学部の配点に換算する。

4) 工学部各コースの「適性評価」及び「基礎学力評価」の詳細については26ページ「選抜方法等」参照のこと。

4. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

本学ホームページ「入試情報」→「入試情報サイト」→「インターネット出願」からインターネット出願システムを利用して出願します。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/>

【注 意】

インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願完了にはなりません。以下の出願の流れに沿って①から④までの手続きを行い、必要書類を出願締切日時までに本学に必着するよう郵送してください。

【インターネットを利用した出願の流れ】

①募集要項の確認(ダウンロード)(事前準備書類の印刷)



本学HP「入試情報サイト」から「募集要項」をダウンロードし、受験希望の学部・学科等の出願条件・試験科目・出願期間や試験日等を確認します。

※志望理由書等、事前に自分で印刷して準備する書類もありますので、ご注意ください。

②出願情報の登録(一時保存機能付き)



パソコン又はスマートフォンから本学HP「入試情報サイト」のインターネット出願ページにアクセスし、画面の指示に従って登録内容を入力します。

【登録内容】◎入試区分の選択 ◎学部・学科・受験科目等の選択

◎氏名・連絡先等の個人情報の入力

※一時保存機能により、検定料支払い前に学校の先生や保護者の方の確認も可能です。

※登録後に発行される整理番号とセキュリティコードは、受験票を印刷する際に必要となりますので、必ずメモをとる等して控えてください。

※検定料支払い後は、登録内容の変更はできませんので、支払い前に再度確認してください。

③支払い方法の選択・支払い



入学検定料の支払い方法を選択します。

【支払い方法】◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM(ペイジー)

◎ネットバンキング

選択した支払い方法に従って、出願締切日時までに**出願書類を郵送(必着)**できるように入学検定料を支払います。

④必要書類の印刷・郵送



インターネット出願システムから出願確認票を印刷し、自分で準備した調査書等の必要書類とともに封筒に入れます。

その封筒にシステムから印刷した宛名ラベルを貼り、長崎大学へ出願締切日時までに**必着**するように郵送し、**出願完了**となります。

【インターネット出願操作に関わるお問い合わせ】

出願受付操作サポート窓口 TEL 0120-752-257

お問い合わせの前に、以下の「よくある質問(Q&A)」をご確認ください。

アドレス <http://www.guide.52school.com/guidance/net-nagasaki-u/faq/>

(2) インターネット出願登録開始日及び検定料支払開始日

区分	学部名	出願登録開始日及び検定料支払開始日
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部, 経済学部, 工学部, 水産学部	令和4年8月25日(木)～
総合型選抜Ⅱ	教育学部	令和4年8月25日(木)～
	経済学部, 歯学部	令和4年11月1日(火)～

注) 下記の出願締切日時までに出願書類を提出できるように登録及び支払いを済ませてください。

(3) 出願期間(出願書類提出期間)

注) 郵送受付のみ可(持参受付は行いませんので、郵便事情を考慮し、余裕をもって出願してください。)

区分	学部名	出願期間	出願締切日時
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部, 経済学部, 工学部, 水産学部	令和4年9月1日(木) ～ 9月7日(水)	9月7日(水) 17時必着 (持参不可)
総合型選抜Ⅱ	教育学部	令和4年9月1日(木) ～ 9月7日(水)	9月7日(水) 17時必着 (持参不可)
	経済学部, 歯学部	令和4年11月8日(火) ～ 11月14日(月)	11月14日(月) 17時必着 (持参不可)

注) 出願書類等を郵送する際は、市販の角形2号封筒に**インターネット出願システムから印刷した宛名ラベル**を必ず貼り付け、簡易書留速達とし、各出願締切日の17時までに**必着**するよう郵送すること。

(4) 出 願 書 類

- ・ 下記の①～③の書類を提出してください。
- ・ 各書類の提出を要する学部については表の右側を参照してください。

① インターネット出願システムから印刷するもの 必ずA4サイズでカラー印刷してください。

出 願 書 類 等	摘 要	該当学部
出 願 確 認 票	出願内容等に間違いがないか確認して、インターネット出願システム登録時に印刷してください。 ※出願確認票は大学へ郵送する書類です。	全学部
宛 名 ラ ベ ル	出願確認票は、証明写真のアップロードと検定料の支払いが完了しないと印刷できません。 ※総合型選抜Ⅱの第一次選考合格者は出願確認票を再度印刷して大学へ郵送する必要があります。(詳細は35ページの5.(3)を参照) ※宛名ラベルは出願書類郵送時に封筒に貼付(糊付け可)してください。	

② 出願者が各自で準備するもの

出 願 書 類 等	摘 要	該当学部
第1次選考結果等送付用封筒	長形3号封筒(12cm×23.5cm)に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、354円分の切手を貼付したもの	全学部
調 査 書 (次頁に続く)	以下のうち該当するものを郵送してください。 1. 高等学校又は中等教育学校卒業(卒業見込み)の者、あるいは特別支援学校の高等部修了(修了見込み)の者 文部科学省が定めた様式により、出身学校長が作成し厳封したもの(1年以内に証明されたものであること)。 調査書には、学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物・学力ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に㊸と標示することができる(備考欄には、その理由を記載すること)。 ただし、特別な事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿(写)等を提出すること。この場合、学校長からの「調査書が発行できない旨の文書」を添付すること。なお、特別な事情とは、被災・廃校・記録の保存期間の経過その他の事情によるもののことである。 2. その他修了等(修了等見込み)の者 ① 高等専門学校第3年次修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者については、調査書の様式に準じて出身学校長が作成したもの ② 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者、英国のGCE-Aレベル資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者については、当該試験等の成績証明書	全学部

	<p>③ 高等学校卒業程度認定試験合格者（廃止前の大学入学資格検定合格者を含む。）は、合格成績証明書又は合格見込成績証明書。また、高等学校に在籍したことのある者および一部の科目を高等学校等で履修している者は、在学期間中の成績証明書又は調査書</p> <p>④ 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「長崎大学入学資格認定書」の写し</p>																			
活動報告書	<p>前欄の「調査書」で、1に該当する者のうち、特別な事情により調査書が得られない者及び2に該当する者は、前欄の書類に加えて、73ページの本学所定の用紙（ホームページに掲載）の活動報告書を必ず提出すること。</p>	経済学部総合型選抜Ⅰ志願者で左記に該当する者																		
<p>外国語検定試験の成績証明書等提出書類の詳細は各学部の出願要件を確認してください</p>	<p>次の表に掲げる外国語検定試験の種類に応じて成績証明書等のいずれかの写しを提出してください。</p> <table border="1" data-bbox="432 730 1193 1570"> <thead> <tr> <th>外国語検定試験の種類</th> <th>成績証明書等の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEFL iBT</td> <td>TOEFL iBT Test Taker Score Report</td> </tr> <tr> <td>TOEFL ITP</td> <td>TOEFL ITP Score Report</td> </tr> <tr> <td>TOEIC L&R</td> <td>TOEIC Listening&Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td>TOEIC S&W</td> <td>TOEIC Speaking&Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定(英検, 英検 CBT 又は 英検 S-CBT)</td> <td>実用英語技能検定 合格証明書</td> </tr> <tr> <td>IELTS</td> <td>INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM Test Report Form</td> </tr> <tr> <td>GTEC(4技能版)</td> <td>GTEC Official Score Certificate</td> </tr> <tr> <td>TEAP</td> <td>TEAP OFFICIAL SCORE REPORT FOR THE TEST OF ENGLISH FOR ACADEMIC PURPOSES</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 外国語検定試験は、令和2年9月以降に受験した試験に限ります。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和2年9月以降に受験した試験とします。</p> <p>注2) 外国語検定試験は公式スコア (TOEFL iBT(Special Home Edition 及び Home Edition を含む。))は Test Date スコアに限る。)を対象(TOEFL ITP を除く。)とし、TOEIC IP は対象としません。</p>	外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類	TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report	TOEFL ITP	TOEFL ITP Score Report	TOEIC L&R	TOEIC Listening&Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	TOEIC S&W	TOEIC Speaking&Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	実用英語技能検定(英検, 英検 CBT 又は 英検 S-CBT)	実用英語技能検定 合格証明書	IELTS	INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM Test Report Form	GTEC(4技能版)	GTEC Official Score Certificate	TEAP	TEAP OFFICIAL SCORE REPORT FOR THE TEST OF ENGLISH FOR ACADEMIC PURPOSES	多文化社会学部 一般枠
外国語検定試験の種類	成績証明書等の種類																			
TOEFL iBT	TOEFL iBT Test Taker Score Report																			
TOEFL ITP	TOEFL ITP Score Report																			
TOEIC L&R	TOEIC Listening&Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE																			
TOEIC S&W	TOEIC Speaking&Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE																			
実用英語技能検定(英検, 英検 CBT 又は 英検 S-CBT)	実用英語技能検定 合格証明書																			
IELTS	INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM Test Report Form																			
GTEC(4技能版)	GTEC Official Score Certificate																			
TEAP	TEAP OFFICIAL SCORE REPORT FOR THE TEST OF ENGLISH FOR ACADEMIC PURPOSES																			
学校教育プログラムの概要	<p>学校教育プログラムの概要、趣旨・目的、実施内容等がわかる書類で出身学校長が証明したもの及び当該プログラムの概要がわかる構想図を郵送してください。</p> <p>なお、当該学校教育プログラムは、単位認定が行われる正規のプログラムに限ります。</p>	多文化社会学部 グローバル枠																		

出願書類等	摘 要	該当学部
国際バカロレア資格証書の写し等	<p>国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma) の写しと IB 最終試験の成績証明書を郵送してください。</p> <p>【出願期間までに上記の書類が提出できない場合】</p> <p>在籍する (した) 学校長又は進路指導担当者が作成した国際バカロレア資格の取得見込み証明書 (様式任意) 及び「IB Predicted Grades」を郵送してください。</p> <p>合格者は、国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma) の写しと IB 最終試験の成績証明書を令和 5 年 3 月 31 日までに郵送してください。</p> <p>期限までに上記の書類を本学が受領できない場合、国際バカロレアフルディプロマのスコアが 32 ポイントに満たなかった場合又は日本語 B (HL) のスコアが 6 ポイントに満たなかった場合は、合格取消となります。</p>	多文化社会学部 国際バカロレア枠
検 定 料	<p>17,000円</p> <p>① 支払期間 前記「(1)インターネット出願登録及び検定料支払開始日」を参照</p> <p>② 支払に際しての留意事項 支払い時に別途必要な手数料は、入学志願者本人の負担となる。</p> <p>③ 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 ア 第1次選考の不合格者に対しては本人の申し出により13,000円を返還する (詳細は文書で通知する。) イ 検定料を支払ったが長崎大学に出願しなかった (出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった。) 場合、又は検定料を誤って二重に支払った場合には、支払った者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。 なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。</p> <p>※ 問い合わせ先 長崎大学学生支援部入試課 Tel 095-819-2113</p>	全学部

③ 本学所定の用紙（HPに掲載）を印刷し作成するもの
必ずA4サイズで印刷してください（全て片面印刷で提出してください。）。

出 願 書 類 等	摘 要	該当学部
出 願 書 類 提 出 用 表 紙	29 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送してください。	全学部
自 己 推 薦 書 (様式1)	29 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送してください。記入の際は各学部が指定する記載要領をよく読んでください。 (注)諸活動の記録（様式2-ii） C「生徒会活動，学級内の委員・係等」の高等学校等教諭の証明欄については，証明者から署名をもらってください。	全学部
諸 活 動 の 記 録 (様式2-i, ii)		多文化社会学部， 教育学部，経済学部(総合型選抜II)， 水産学部
諸 活 動 の 記 録 (様式2-iii)		同上
諸 活 動 の 記 録 (様式2-iv)		教育学部
課 題 研 究 報 告 書	29 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送してください。 (1000字以内)	多文化社会学部 グローバル枠
活 動 報 告 書 (調査書が提出できない者)	29 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入し郵送してください。 (600字以内)	経済学部総合型 選抜I志願者で 該当する者

(5) 注 意 事 項

- ① 出願書類を郵送した時点で出願の意思ありと判断するため，それ以降の出願取消の申し出には一切応じない。
- ② 志望する学部・学科・コース等は，出願後に変更することは一切認めない。
- ③ 出願書類等に不備がある場合は受理しないので，「記入もれ」，「誤記」など不備がないよう十分確認すること。
- ④ 一旦受理した出願書類等はいかなる理由があっても返還しない。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は，入学許可を取り消すことがある。
- ⑥ 第2次選考及び大学入学共通テストにおいて，志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全科目受験していなければ，合格者とはなれない。

5. 第1次選考結果等について

(1) 第1次選考結果の発送

区分	学 部 名	第1次選考結果発送日
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部, 工学部, 水産学部	令和4年 9月27日(火)
	経済学部	令和4年 9月20日(火)
総合型選抜Ⅱ	教育学部	令和4年 9月27日(火)
	経済学部	令和4年12月 2日(金)
	歯学部	令和4年12月19日(月)

注1) 上記期日に合格通知又は不合格通知を発送する。

第1次選考合格者のみ、上記期日の11時頃にインターネット出願システム上で第2次選考のための受験票の印刷が可能となる(第1次選考不合格者は受験票の印刷はできない。)
第1次選考不合格者には、不合格通知と併せて検定料の返還方法についての文書を発送する。

注2) 電話での合否の問合せには一切応じない。ただし、上記期日から3日経過しても通知文書が届かない場合に限り、速やかに長崎大学学生支援部入試課へ連絡すること。(連絡先: TEL 095-819-2113)

(2) 受験票の印刷(第1次選考合格者のみ可能)

インターネット出願システムの申込確認画面から、整理番号とセキュリティコードを入力し、各自で受験票を印刷すること。

また、印刷の際は必ず A4サイズでカラー印刷すること。

(3) 大学入学共通テスト成績請求票の提出(総合型選抜Ⅱ第1次選考合格者のみ)

総合型選抜Ⅱの第1次選考合格者は、大学入試センターから受験票とセットで送付される大学入学共通テスト成績請求票が届き次第、出願時に提出した出願確認票を再度A4サイズでカラー印刷し、大学入学共通テスト成績請求票を所定欄に貼付け、②の締切日までに学生支援部入試課まで郵送すること。

なお、この成績請求票を提出しない場合は、合格者とはなれない。また、期限までに提出できない者は学生支援部入試課へ連絡すること(連絡先: TEL 095-819-2113)。

① 出願確認票の所定欄には、大学入試センターから交付を受けた「総合令和5共通テスト成績請求票 国公立総合型選抜用」を貼ること。

② 郵送締切日: **令和5年1月5日(木)** (必着)

6. 第2次選考の試験日時・試験場

区分	学部・学科名	期 日	科 目 等	時 間	試 験 場
総合型選抜Ⅰ	多文化社会学部 多文化社会学科	令和4年10月15日(土)	筆記試験	9:30~11:30	多文化社会学部
			面接(個人)	13:00~17:00 予定	
	経済学部 総合経済学科	令和4年10月22日(土)	筆記試験	10:00~11:00	経済学部
			面接 (プレゼンテーション型)	13:00~17:00 予定	
	工学部工学科 機械工学コース 電気電子工学コース 構造工学コース	令和4年10月14日(金)	基礎学力テスト (数学・物理・英語)	9:30~11:00	工学部
			面接(個人)	12:30~17:30 予定	
	工学部工学科 社会環境デザイン工学 コース	令和4年10月14日(金)	基礎学力テスト (数学・物理・英語)	9:30~11:00	工学部
			課題作文	11:30~12:00	
			面接(個人)	13:30~17:30 予定	
	工学部工学科 化学・物質工学コース	令和4年10月14日(金)	基礎学力テスト (数学・物理・英語)	9:30~11:00	工学部
			基礎学力テスト (化学)	11:30~12:00	
			面接(個人)	13:30~17:30 予定	
水産学部 水産学科	令和4年10月13日(木)	課題論文	13:30~14:30	水産学部	
	令和4年10月14日(金)	小テスト	15:00~16:20		
		面接(個人)	9:30~17:00 予定		
総合型選抜Ⅱ	教育学部 学校教育教員養成課程	令和4年10月15日(土)	面接(自己表現を含む。)	9:30~17:00 予定	教育学部
	経済学部 総合経済学科	令和5年 1月27日(金)	面接(個人)	9:30~15:30 予定	経済学部
	歯学部 歯学科	令和5年 1月20日(金)	面接	13:00~17:30 予定	歯学部

7. 第2次選考の受験に際しての注意事項

- ① 受験学部の第2次選考日の前日午後（13時～17時）に試験場を確認しておくこと。
- ② 第2次選考の詳細については、**第1次選考結果発送日以降に本学HPに掲載することがある。**
- ③ 受験者は、**試験開始の30分前までに所定の試験室に入室**すること。「面接」の集合時間が指定されている場合は、その指示に従うこと。
- ④ 試験開始後30分以内の遅刻者（入室者）は受験を認めるが、試験時間の延長はない。30分を超えた遅刻者には受験を認めない。ただし、「面接」については、指定された集合時間に遅れた場合、特別な事情がない限り、受験を認めない。
- ⑤ 試験当日は、**長崎大学入学試験受験票（総合型選抜）**（出願者が各自A4サイズでカラー印刷すること。書き込み不可）及び**健康状態確認シート**（詳細は8ページを参照）を必ず持参すること。また、**総合型選抜Ⅱ（経済学部及び歯学部のみ）の受験者は、大学入学共通テスト受験票も必ず持参**すること。
- ⑥ 試験中は、本学の受験票（総合型選抜Ⅱ（経済学部及び歯学部のみ）の受験者は大学入学共通テスト受験票も）を机の通路側上に置くこと。
- ⑦ 机の上には、受験票、黒鉛筆、シャープペンシル（シャープペンシルの芯可（ケースは不可））、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類を除く。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可。線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの（それらの機能の有無が判別しづらいものを含む。）、秒針音のするもの、キッチンタイマー及び大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）及び目薬以外の所持品を置いてはいけない。
- ⑧ 試験室では監督者の指示に従うこと。指示に従わない場合は、不正行為となることがある。また、試験時間中に用があるときは手を挙げること。
- ⑨ 試験中の退室はできない。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めるが、試験時間の延長は行わない。
- ⑩ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、時計等のアラームは設定を解除しておくこと。
- ⑪ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身につけないこと。身につけていたり手にもっている場合、不正行為となることがある。
- ⑫ 不正行為を行った受験者については、それ以降の受験はできない。また、受験した試験の全ての成績は無効とする。なお、極めて悪質な不正行為を行った場合は、警察に被害届を提出する場合がある。
- ⑬ 正門付近などで、勧誘や資料の配布が行われている場合があるが、本学とは一切関係がないので注意すること。
- ⑭ 受験者は、気象状況、交通状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。
- ⑮ 疾病・負傷又は試験場に向かう途中の事故等の事由による追試験は実施しないが、所定の日程による試験実施が困難となるような次のア～ウの不測の事態が発生した場合は、再試験を実施するので、試験当日の長崎大学ホームページ（<https://www.nagasaki-u.ac.jp>）で詳細について確認すること。
 - ア. 定期運行している交通機関の事故又は災害等で、相当の数の受験者に係るもの
 - イ. 試験開始後の不測の事態
 - ウ. 大規模の災害等
- ⑯ 試験当日、受験者は、試験場内では昼食時を除き、必ず不織布マスクを着用すること。
- ⑰ 自動車、バイク等での試験場内への乗り入れを禁止する。また、近隣のコンビニエンスストア等の駐車場へは駐車しないこと。

8. 不正行為について

- ① 次のことをすると**不正行為**となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した試験の全ての（教科・科目）の成績を無効とします。

- ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ケ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると**不正行為**となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

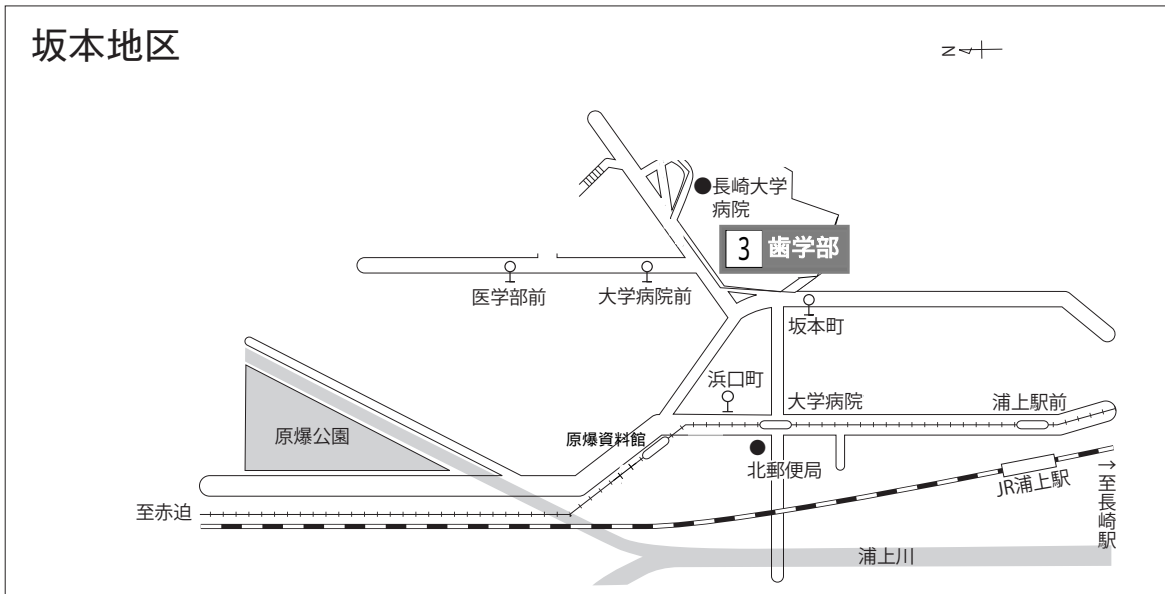
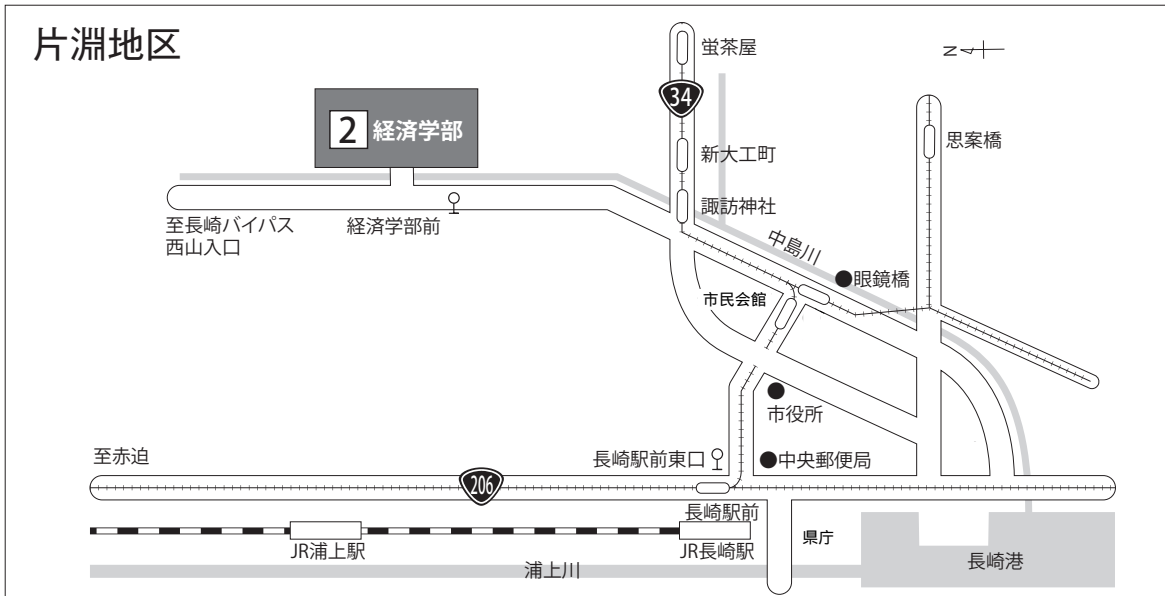
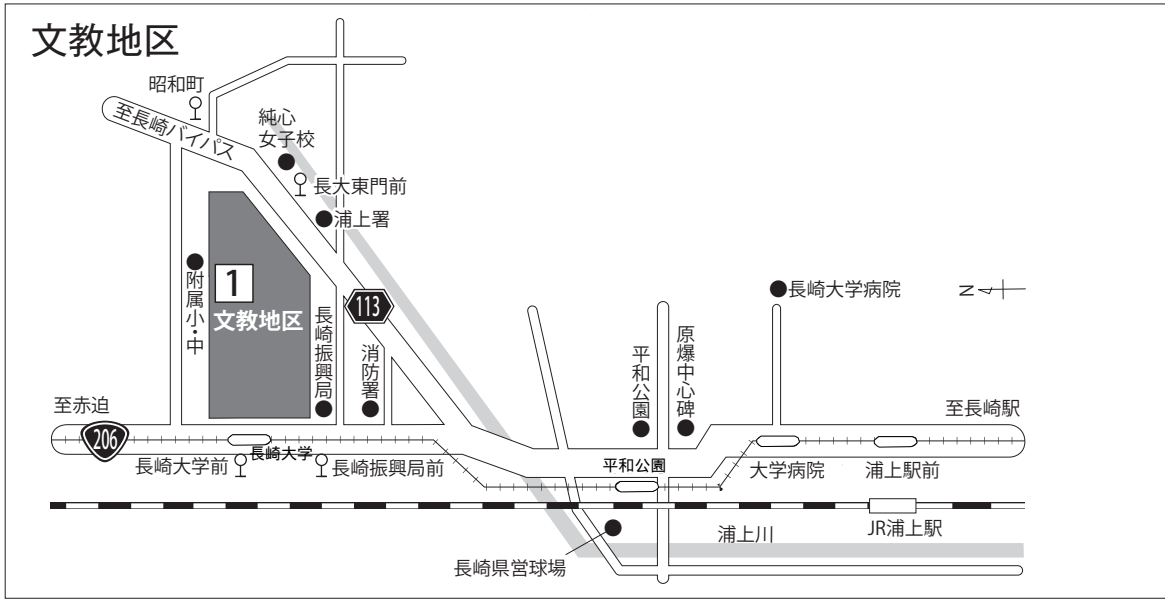
- ア 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9. 試験場までの交通機関

志望学部	試験場	交通機関	
多文化社会学部 教育学部 工学部 水産学部	1 長崎大学 文教地区 (長崎市文教町 1番14号)	JR 長崎駅から	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 バス利用 (長崎バス) 「長崎駅前」から1番系統「溝川」, 「上床」, 「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		JR 浦上駅から	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 バス利用 (長崎バス) 「浦上駅前」から1番系統「溝川」, 「上床」, 「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		長崎空港から	<ul style="list-style-type: none"> バス利用 (県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面 (昭和町・浦上経由)」行きで「長大東門前」下車 (約45分)
経済学部	2 長崎大学 片淵地区 (長崎市片淵4丁目 2番1号)	JR 長崎駅から	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車利用 「長崎駅前」から「蛍茶屋」行きで「諏訪神社」又は「新大工町」下車, 徒歩約15分 バス利用 (県営バス) 「長崎駅前東口」から「循環」, 「立山・浜平」, 「西山木場」行きで「経済学部前」下車
		長崎空港から	<ul style="list-style-type: none"> バス利用 (長崎バス, 県営バス) 「長崎空港5番のりば」から「長崎方面 (出島道路・長崎新地・長崎駅前経由)」行きで「中央橋」下車 (約45分), 県営バス「循環」, 「立山・浜平」, 「西山木場」行きに乗り換えて「経済学部前」下車 バス利用 (県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面 (昭和町・浦上経由)」行きで「長崎駅前」下車 (約60分), その後は上記 JR 長崎駅からと同様
歯学部	3 長崎大学 坂本地区 (長崎市坂本1丁目 7番1号)	JR 長崎駅から	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車, 徒歩約10分 バス利用 (長崎バス) 「長崎駅前」から8番系統「下大橋 (医学部経由)」行きで「大学病院前」又は「坂本町」下車
		JR 浦上駅から	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車, 徒歩約10分
		長崎空港から	<ul style="list-style-type: none"> バス利用 (県営バス) 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面 (昭和町・浦上経由)」行きで「浜口町」下車 (約55分), 徒歩約10分

※ 試験場案内略図は次ページを参照

* 各試験場の案内略図



10. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、**原則として出願期間開始2週間前迄**に下記の内容を記載した申請書（様式任意）に医師の診断書を添え、学生支援部入試課に相談すること。申請書等の内容を検討の上、配慮について通知する。

上記期限経過後でも可能な限り事前相談に応じるが、十分な対応が出来なくなることもある。

入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

※申請書の内容（志願者の住所・氏名・連絡先電話番号・FAX 番号等を明記すること）

- ① 入試区分・志願学部・学科（コース・専攻）
- ② 障がいの種類・程度
- ③ 受験上の配慮を希望する事項
- ④ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑤ 出身学校等でとられていた配慮
- ⑥ 日常生活の状況

○申請先：〒852-8521 長崎市文教町 1-14 長崎大学学生支援部入試課 Tel 095-819-2113

☆ 本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

11. 個別の入学資格審査

多文化社会学部（一般枠）、経済学部及び工学部（I・A）の出願要件の中で「本学における個別の入学資格」により出願を希望する者については、事前に本学の入学資格審査を受け、認定された場合に限り出願を認めるものとする。

(1) 入学資格審査の対象者

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ② 中学校卒業で、各種の学校等での学習歴、社会での実務経験等に基づいて高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(2) 申請期日及び申請先等

令和4年7月20日（水）

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「長崎大学入学資格認定申請書」と朱書きすること（持参可）。

なお、不明な点は、下記に問い合わせること。

※申請先：〒852-8521 長崎市文教町 1-14
長崎大学学生支援部入試課（Tel 095-819-2113）

(3) 申請書類

- ① 前記（1）①に該当する者
 - ア. 入学資格認定申請書（様式第1）
 - イ. 学習等の履歴書（様式第2）
 - ウ. 当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
 - エ. 当該学校の教育内容等を証明できるもの
 - オ. 卒業証明書又は卒業見込証明書（生年月日を記載したもの）
 - カ. 返信用封筒（長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、404円分の郵便切手を貼ったもの）
- ② 前記（1）②に該当する者
 - ア. 入学資格認定申請書（様式第1）
 - イ. 学習等の履歴書（様式第2）
 - ウ. 各種の学校等での学習歴を証明できるもの

- エ. 社会経験等の履歴（様式第3）
- オ. 今までに取得した資格等を証明できるもの
- カ. 18歳に達した者であることを証明できるもの（健康保険証、運転免許証、パスポート等の写し）
- キ. 返信用封筒（長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、404円分の郵便切手を貼ったもの）

申請書類のうち、本学所定の様式（様式第1～第3）については、次の長崎大学ホームページからダウンロードすること。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/file/R05/r05shinsa.pdf>

また、他大学において個別の入学資格審査による認定を受けた者は、その認定を受けたことを証明する書類の写しを添付すること。

(4) 入学資格審査基準

入学資格審査は、提出された申請書類によって行うものとする。

① 前記（1）①の申請者

申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査する。

当該学校の年間及び週当たりの授業時数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が「高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに修得させる単位数」と同等以上であること。

② 前記（1）②の申請者

申請者の学習歴、社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査する。

(5) 審査機関

入学資格審査は、長崎大学入学者選抜委員会で行う。

(6) 入学資格審査結果の通知

入学資格審査の結果は、次の期日までに申請者宛に発送する。

令和4年8月19日（金）

入学資格が認められた者には、「長崎大学入学資格認定書」を交付する。

また、入学資格を認められなかった者には、理由を付して審査結果を通知する。

(7) 長崎大学入学者選抜試験への出願

「長崎大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願する際は、必ず「長崎大学入学資格認定書(写)」を添付すること。

なお、交付された本学の入学資格認定書は次年度以降も有効とする。

(8) その他

入学資格が認められた後であっても、申請書類の内容に事実と異なる点があった場合には、入学資格を取り消すものとする。

12. 長期履修制度

長期履修制度の内容及び申請に係る詳細（申請期間、申請できる学年等）は、各学部により異なるので、事前に入学を希望する学部の担当部署へ照会すること。

○長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により標準修業年限では修学困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるものです。

長期履修を認められた者は、通常の標準修業年限において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内の修学が困難な事情にあるものです。

- (1) 職業を有し、就業している者
- (2) 家事、育児、介護等に従事している者
- (3) 障がいのある者
- (4) その他相当の事由があると認められる者

【長期履修に係る各学部照会先一覧】

学 部	電 話 番 号	担 当 部 署	
多文化社会学部	095-819-2030	人文社会学域事務部	北地区事務課（多文化）
教 育 学 部	095-819-2266		北地区事務課（教育）
経 済 学 部	095-820-6311		南地区事務課（経済）
歯 学 部	095-819-7613	生命医科学域・研究所事務部	歯学系事務室
工 学 部	095-819-2490	総合生産科学域事務部	西地区事務課（工学）
水 産 学 部	095-819-2796		東地区事務課（水産）

13. 合格通知書の発送

第2次選考の合格者には、「合格通知書」をレターパックプラス（対面で届けられ、受領印又は署名が必要な郵便※）で下記の期日に発送する。

なお、不合格者への通知はしない。（電話による可否の照会には応じない。）

ただし、参考として、長崎大学ホームページ（<https://www.nagasaki-u.ac.jp>）に各発送日の下記時間に合格者受験番号を掲載する（掲示による合格者発表は行わない。）。

【合格通知書発送日】

区 分	発送日（HP掲載予定時刻）
総合型選抜Ⅰ	令和4年11月1日（火）（11時頃）
総合型選抜Ⅱ	令和5年2月13日（月）（11時頃）

※ 不在の場合はポスト等に「不在票」が投かんされるので、担当郵便局へ再配達依頼等の連絡を必ず行うこと。

14. 入学手続等

合格した者は、下記により入学手続を行うこと。詳細については、合格者に別途通知する。

(1) 手続期日

【合格通知書受領後から下記の手続期日（16時必着）まで】

区 分	手続期日
総合型選抜Ⅰ	令和4年11月28日（月）16時必着（持参不可）
総合型選抜Ⅱ	令和5年2月20日（月）16時必着（持参不可）

注）郵送のみ可（持参による手続は行いませんので、郵便事情を考慮し、余裕をもって郵送すること。なお、上記期日までに入学手続書類が到着しなかった場合は、入学を辞退したものと取り扱う。）

(2) 必要書類の提出

- ① 令和5年度長崎大学入学試験受験票（総合型選抜）
- ② 令和5年度大学入学共通テスト受験票〔総合型選抜Ⅱの合格者〕
- ③ 誓約書、保証書、その他の書類（別途送付）

(3) 納付金の納入

入 学 料 282,000 円

（注）別途送付する「入学手続案内」に綴込んでいる振込書により、入学手続時までに振り込むこと。既納の入学料は返還しない。

参考

1. 令和4年度授業料（年額）535,800円（前期分267,900円、後期分267,900円）
2. 授業料の納入時期は、前期分4月、後期分10月になる。
3. 入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
4. 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は、入学手続関係書類で通知する。

(4) 注意事項

- ① 本選抜による合格者は、下記③に定める入学辞退届を提出したものを除き、出願済の本学及び他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下②において同じ。）の一般選抜を受験しても合格者とはならない。

※公立大学協会ホームページ <http://www.kodaikyo.org/>

- ② 本選抜による合格者が、上記入学手続期日までに入学手続を行わないときは、本学に入学する権利を消失するので十分注意すること。この場合において、本学及び他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはならない。

- ③ 本選抜による合格者で、特別の事情により入学を辞退する場合は、本学が定める「総合型選抜入学辞退届」を前記の入学手続期日までに提出しなければならない。

なお、詳細については、学生支援部入試課へ問い合わせること。

- ④ 本選抜による合格者及び入学手続者の個人情報（氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号のみ）は、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うた

めに、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。

- ⑤ 総合型選抜Ⅰの入学手続き者に対しては、入学前教育として課題等を課す予定であり、その際は、在籍高等学校等からの生徒参加承諾書（所定の様式）を提出してもらうことになる。また、課題や講義・大学生活に関するスクーリング（原則参加）を開催する予定である。入学前教育の詳細については、第2次選考の合格通知書発送時に通知する。

15. 学生寮への入居（多文化社会学部へ入学する者）

多文化社会学部に入学する学生のうち希望者については、入学時から1年間、大学キャンパス外でも多文化状況に触れることを目的とした学生寮「国際学寮ホルテンシア」に入居し、外国人留学生とのルームシェアによる共同生活を行うことができる。ただし、入寮希望者が多数の場合は、希望に添えないことがある。

学生寮の概要は、次のとおりである。

なお、防犯対策として、各ユニットの玄関にカードキー対応ドアを、各個室に暗証番号対応ドアを装備している。

寮名称	国際学寮ホルテンシア
所在地	A棟：長崎市白鳥町8-77 B棟：長崎市白鳥町8-78 (大学まで徒歩12分程度)
収容人数	135人（A棟72人・B棟63人） 1ユニット4人（外国人留学生1人を含む。）のルームシェア形式 (ただし、1ユニットのみ車椅子対応の3人のルームシェア)
入居費用	寄宿料：25,000円/月（ただし、入学時及び在学中に寄宿料の改定が行われた場合には、改定時から新寄宿料が適用される。水道・ガス料金は別途自己負担） 共益費：2,500円/月（電気代及び管理運営費。追加徴収の可能性はある。） ※ 寄宿料及び共益費は原則4月及び10月に半期分（6カ月分）を徴収 ※ 退去時のクリーニング費用として10,000円（入居時に徴収） ※ 上記のほか、借家人賠償責任保険等の加入が必要（入居時のみ）
共用施設	集会室、駐輪場、中庭、ゴミ置き場
個室部分の設備 (洋室4.5帖)	机、椅子、電気スタンド、エアコン、ベッド（収納庫（ベッド下）及びマットレス付き）、光回線インターネット、TV端子、照明、暗証番号対応ドア
ユニット内の設備 (DK8.2帖)	シャワーブース、トイレ、洗面台、システムキッチン、ダイニングセット（テーブル、椅子）、冷蔵庫、食器棚、電子オーブンレンジ、洗濯乾燥機、衣類乾燥機、掃除機、炊飯器、エアコン、カードキー対応玄関ドア等
食事	食事の提供なし（各ユニットのキッチンで自炊可能）

注) 入学者の状況によっては、外国人留学生とのルームシェアとならない場合がある。

詳しくは、長崎大学多文化社会学部ホームページをご覧ください。

<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/>



障がいやセクシュアリティその他の理由で入寮について相談がある場合は、以下にお問い合わせください。

長崎大学学生支援センター（学生支援課生活支援班） TEL 095-819-2103

16. 総合型選抜志願者の一般選抜等への出願

本選抜において不合格となった場合に（又はその場合に備えて）、一般選抜等の受験を希望する者は、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つ、合計二つの大学・学部へ出願することができる。なお、本学の総合型選抜Ⅱに出願した者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱに出願することはできない。

また、出願する大学・学部の出願要件に留意すること。

[本学の学校推薦型選抜の学生募集要項は令和4年9月上旬に、一般選抜の学生募集要項は令和4年11月下旬に発表する予定である。]

17. 問い合わせ先

〒 852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学学生支援部入試課 TEL 095-819-2113

18. 個人情報の取扱

(1) 個人情報の利用

① 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。

また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。

② 出願書類により取得された高等学校等の成績は、奨学生への推薦資料に利用する。

③ 出願書類により取得された高等学校等の成績及び入学試験の成績（総合型選抜Ⅱにおいては、大学入学共通テストの成績を含む。）は、入学料免除等及び授業料免除等並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。

④ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。

⑤ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

(2) 個人情報に関する業務の委託について

出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、個人情報の適切な取扱いに関する契約等を締結した上で、データ登録業務を外部の事業者へ委託することがある。

19. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお、詳細については、43ページの「各学部照会先一覧」まで問い合わせること。

20. 入試情報の提供

(1) 個人成績

個人成績の提供については、インターネット出願時における希望の有無により提供します。出願期間後のメール、電話等による請求は受け付けませんのでご注意願います。

なお、第2次選考に係る成績のみを提供します。

① 請求方法

インターネット出願時の個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択してください。

② 提供内容

(1) 大学入学共通テストの教科ごとの得点（総合型選抜Ⅱに限る。）

（本学が判定に使用した教科の配点換算後の点数）

(2) 本学が実施する学力・実技等検査の得点

(3) (1) + (2)の総得点及び順位

③ 開示期間

令和5年6月1日（木）から6月30日（金）

④ 開示請求者

受験者本人に限ります。

⑤ 開示手数料

1回の出願につき開示請求手数料600円が必要です。入学検定料と併せて支払ってください。

⑥ 閲覧方法

長崎大学ホームページ（入試情報サイト）から個人成績開示システムへ進んでください。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/grades/>

「氏名（フリガナ）」、「受験番号」、インターネット出願時の「セキュリティコード」を入力すると閲覧できます。

開示時期は出願からかなりの期間がありますので「受験番号」及び「セキュリティコード」の管理には注意してください。

(2) 採点・評価基準

採点・評価基準については、48ページに記載しています。

(3) 合否判定基準

合否判定基準については、50ページに記載しています。

(4) 令和4年度総合型選抜実施状況

令和4年度総合型選抜実施状況は、51ページに記載しています。

(2) 採点・評価基準

学部	区分	採点・評価基準
多文化社会学部	総合型選抜Ⅰ (一般枠)	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 自己推薦書, 諸活動の記録, 調査書等を評価する。 第2次選考 個人面接(日本語及び英語による。)及び筆記試験(論理的思考能力と洞察力(観察力)を問う。)を課し, 評価する。
	総合型選抜Ⅰ (グローバル枠・国際バカロレア枠)	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 自己推薦書, 諸活動の記録, 調査書等(グローバル枠については, 学校教育プログラムの概要及び所定の様式による志願者の課題研究報告書を含む。)を評価する。 第2次選考 個人面接(日本語及び英語による。)及び筆記試験(論理的思考能力と洞察力(観察力)を問う。)を課し, 評価する。
教育学部	総合型選抜Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 自己推薦書, 諸活動の記録, 調査書等を評価する。 第2次選考 面接(自己表現を含む。)では, 個人面接時の自己表現に関するやり取りをとおして, 教職への志望の強さ, 主体的な学修意欲, 教育への関心等を評価する。
経済学部	総合型選抜Ⅰ	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 自己推薦書, 調査書(調査書が提出できない者については, 活動報告書)により, 基礎的学力, 論理的思考力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。 第2次選考 筆記試験により, 基礎的学力, 論理的思考力等を評価し, プレゼンテーション型面接(口頭試問を含む)により, 論理的思考力, コミュニケーション力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。
	総合型選抜Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 自己推薦書, 諸活動の記録, 調査書により, コミュニケーション力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。 第2次選考 大学入学共通テストにより, 基礎的学力, 論理的思考力, コミュニケーション力等を評価し, 個人面接により, コミュニケーション力, 学習意欲, 主体性, 行動力等を評価する。評価は点数化する。
歯学部	総合型選抜Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選考 歯学部ゼミナールを点数化し評価する。 第2次選考 面接を課し, 歯学部ゼミナール, 大学入学共通テストの成績, 自己推薦書, 調査書と併せて総合的に評価する。

学部	区分	採点・評価基準
工学部	総合型選抜 I・A	<p>1. 第1次選考 自己推薦書及び調査書を点数化する。 自己推薦書では、志望する理由についての記述内容を総合的に評価する。 調査書では、①各科目の学習成績の状況（評定平均値）、②出欠の記録、③「指導上参考になる諸事項」又は「備考」の欄等に記載された諸活動（生徒会活動、各種オリムピック、チャレンジ、グランプリ等への参加活動等）の記録を点数化する。なお、区分Bの受験者については、③にジュニアマイスター顕彰を含める。</p> <p>2. 第2次選考 (1) 適性評価 個人面接（口述試験）を行うとともにコースによっては課題作文を課す。 志望動機及び志望コースで学ぶ適性（アドミッション・ポリシーに対する適性）を、分野関心度、基礎知識、論理的思考力、理解力、日本語による表現力、発想の豊かさ等の観点から、総合的に評価する。</p> <p>(2) 基礎学力評価 基礎学力テスト（筆記試験）で、教科に関する基礎学力や、志望コースの専門分野に関連する理科の科目等の基礎学力を総合的に評価する。調査書の各科目の学習成績の状況（評定平均値）も総合評価の参考にする。</p>
	総合型選抜 I・B	
水産学部	総合型選抜 I	<p>1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書を点数化する。</p> <p>2. 第2次選考 課題論文、小テスト（論理的思考能力及び英語に関する基礎学力を問う）及び面接の評価を点数化する。 面接は個人面接で行い、志望動機、学部への関心、将来展望、高校生活等についての質疑応答から、入学への関心度、学力素養について総合的に評価する。</p>

(3) 合否判定基準

学部名	区分	合 否 判 定 基 準 (第 2 次 選 考)
多文化社会学部	総合型選抜Ⅰ (一般枠)	(1) 筆記試験と面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。 (3) 筆記試験で評価が著しく低い者、面接試験において評価(志望動機を含む意欲・積極性、多文化状況への興味・関心)が著しく低い者又は総得点が一定の基準に達していない者については、不合格とすることがある。
	総合型選抜Ⅰ (グローバル枠・国際バカロレア枠)	
教育学部	総合型選抜Ⅱ	(1) 大学入学共通テスト及び面接の総得点で合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。 (3) 面接の得点率が20%以下の者は、大学入学共通テストの成績にかかわらず、不合格とする。
経済学部	総合型選抜Ⅰ	(1) 筆記試験及びプレゼンテーション型面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、筆記試験又はプレゼンテーション型面接のいずれかの点数が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。
	総合型選抜Ⅱ	
歯学部	総合型選抜Ⅱ	(1) 歯学部ゼミナール、大学入学共通テストの成績、面接、自己推薦書及び調査書の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。ただし、原則として、大学入学共通テストの総合計の得点率が70%に満たない場合は不合格とする。また、第2次選考において、面接の点数が著しく低い場合には、歯学部ゼミナール、大学入学共通テストの成績、自己推薦書及び調査書の評価結果にかかわらず、不合格とすることがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ① 大学入学共通テストの総合計の得点が上位の者 ② 歯学部ゼミナールの得点が上位の者 ③ 面接の得点が上位の者
工学部	総合型選抜Ⅰ・A	適性評価と基礎学力評価の合計点が140点以上である者を対象に、合計点の高い順に合格者を決定する。ただし、適性評価の点数が著しく低い場合は、不合格とする。
	総合型選抜Ⅰ・B	
水産学部	総合型選抜Ⅰ	課題論文、小テスト及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、学力検査等(課題論文、小テスト及び面接)のいずれかの評価が著しく低い場合には、総得点にかかわらず、不合格とすることがある。

(4) 令和4年度総合型選抜実施状況

①総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

学 部		課 程 等	募 集 人 員	志 願 者 数	第1次選考 合格者数	合 格 者 数	入 学 者 数
多文化社会 学部	一般枠	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	8	7	7	4	4
		オランダ特別コース	2	3	3	3	3
	グローバル・ 国際バカロレア枠	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	4	0	0	0	0
		オランダ特別コース	1	0	0	0	0
	計		15	10	10	7	7
経済学部		総合経済学科	5	19	10	5	5
工学部	機械工学コースB		8	11	11	8	8
	電気電子工学コースB		9	11	11	9	9
	構造工学コースB		2	4	4	1	1
	社会環境デザイン工学コースA		8	15	15	7	7
	社会環境デザイン工学コースB		5	2	2	2	2
	化学・物質工学コースB		5	2	2	2	2
	計		37	45	45	29	29
水産学部		水産学科	5	4	4	4	4
合 計			62	78	69	45	45

総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

学 部		課 程 等	募 集 人 員	志 願 者 数	第1次選考 合格者数	合 格 者 数	入 学 者 数
教育学部	学校教員養成課程	小学校教育コース	4	10	8	4	4
経済学部		総合経済学科	10	47	20	11	11
歯学部		歯学科	7	28	28	5	5
合 計			21	85	56	20	20

総合型選抜 合計

学 部		課 程 等	募 集 人 員	志 願 者 数	第1次選考 合格者数	合 格 者 数	入 学 者 数
合 計			83	163	125	65	65

21. パソコン必携制度のご案内

◆ はじめに

パソコン必携制度は、ICT を活用したアクティブラーニングを行うための施策の一つであり、授業の進度に応じて様々な学修体験を得ること、授業外においても授業中と同等な ICT 環境を利用できるようにすることを目的としています。また、学生生活や就職活動を見据え、所有する機器を使いこなす ICT スキル（生産性ツールの利活用、セキュリティ管理、さまざまなデバイスとの接続、クラウドの利用等）の涵養もその目的としております。

新入生の皆様には、大学へノートパソコンを持参して、ノートパソコンを利活用した様々な学修を行っていただきます。

◆ 必携パソコンについて

令和 5 年度必携パソコンの基本仕様（最低限必要な機能・性能等）は、9 月頃、長崎大学ホームページの「受験生の入試情報サイト」でお知らせする予定です。

なお、長崎大学では、新規にノートパソコンを購入する方向けに基本仕様を満たしたモデル（長崎大学仕様モデル）を業者より販売してもらうことを計画しています。長崎大学仕様モデルは、SSD（ソリッドステートドライブ）を採用するなど高い機能・性能を有し、落下時の破損等も担保される動産保険が付され、安心して使用することができます。

新規にパソコンを購入される方には、高い機能・性能を有し、様々な面でサポートが受けられる長崎大学仕様モデルの購入をお勧めします。ICT リテラシーの入門科目である「情報基礎」を始め、多くの授業は基本仕様を前提としています。大学入学に際し、長崎大学仕様モデル以外の機種を新規に購入される場合には、基本仕様と同等以上の機能・性能の機種の購入をお願いいたします。

令和 5 年度長崎大学仕様モデルの購入案内については、10 月頃、長崎大学ホームページの「受験生の入試情報サイト」でお知らせする予定です。

過去年度の必携パソコンの基本仕様及び大学推奨仕様モデルについては、ICT 基盤センターホームページ「必携 PC」（※1）に掲載しておりますので、参考までにご覧ください。

http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc.html（※1）

◆ ノートパソコンを購入（準備）できない方

経済的理由により購入ができない方のために、ノートパソコンを大学より貸与します。貸与は、学費負担者の収入が一定の基準を満たす方に対して行います。

長崎大学公式ホームページの「学生生活・経済支援」（※2）をご覧ください。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/life/money/Personalcomputer/index.html>（※2）

ノートパソコン必携化に関する問い合わせ窓口

長崎大学 ICT 基盤センター・情報企画課（平日：9 時～17 時）

TEL：095-819-2221 E-MAIL：pcsupport@ml.nagasaki-u.ac.jp

22. 出願書類作成上の注意事項

(1) 全 般

ア. 黒ボールペンによる自筆とし、楷書で丁寧に記入すること。

イ. 数字については、算用数字を用いること。

ウ. 太線枠内の該当するものは、全て記入又は○印を付けること。

エ. 各書類の※欄は記入しないこと。

オ. 志望した学部・学科等を出願後に変更することは認めない。

カ. 各種添付書類については、志望する学部等が提出を求めているのか、枚数等に制限がないか、該当なしでもその旨記載して提出する等、志望する学部等の記載要領に従って提出すること。

(2) 自己推薦書、諸活動の記録

志望学部の記載要領をよく読み作成すること。諸活動の記録について、団体での活動等を記載する場合は、団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記載すること。

氏名	
----	--

令和5年度 長崎大学総合型選抜

出願書類提出用表紙

総合型選抜に出願するにあたっては、以下の欄に記入した後、この用紙を各学部が定めた出願書類（志望する学部の記載要領をよく読み作成してください。）に添えて提出してください。

- この用紙の一番上の欄にあなたの氏名を記入してください。
- あなたが志望する学部及び学科・コース名を以下の欄に記入するとともに、経済学部又は工学部志望の場合は該当する入試区分に○印を付してください。

学 部	学部
学科・コース	学科 コース 課程 経済学部区分 (I II) 工学部区分 (IA IB)

- 各学部では以下の書類の提出を求めています。あなたが作成した書類を確認するため、志望する学部にも○をつけたうえで、作成書類の該当欄にある□にチェックしてください（枚数には添付資料を含みません。）。

区 分	学 部	自己推薦書 (様式1)			諸活動の記録						課題研究報告書 (多文化社会学部 グローバル枠のみ) 活動報告書 (経済学部総合型選抜I で調査書が提出できない者のみ)		
					(様式2-i, ii)		(様式2-iii)		(様式2-iv)				
		テーマ	枚数	チェック	枚数	チェック	枚数	チェック	枚数	チェック	枚数	チェック	
総合型 選抜 I	多文化社会学部	志望理由	3枚以内	<input type="checkbox"/>	2-i (ともに枚数) 2-ii (制限なし)	<input type="checkbox"/>	枚数 制限なし	<input type="checkbox"/>				4枚以内	<input type="checkbox"/>
	経済学部	テーマ1	2枚以内	<input type="checkbox"/>								2枚以内	<input type="checkbox"/>
		テーマ2	2枚以内	<input type="checkbox"/>									
	工学部	志望理由	2枚以内	<input type="checkbox"/>									
総合型 選抜 II	教育学部	テーマ1	1枚	<input type="checkbox"/>	2-i : 1枚 2-ii : 1枚	<input type="checkbox"/>	1枚	<input type="checkbox"/>	1枚	<input type="checkbox"/>			
		テーマ2	2枚以内	<input type="checkbox"/>									
	経済学部	テーマ1	2枚以内	<input type="checkbox"/>	2-i (ともに枚数) 2-ii (制限なし)	<input type="checkbox"/>	枚数 制限なし	<input type="checkbox"/>					
		テーマ2	1枚	<input type="checkbox"/>									
歯学部	志望理由	2枚以内	<input type="checkbox"/>										

注 様式2-i, ii, iii, ivについて、提出が指定されている場合で該当がない項目はそれぞれに「該当なし」と記入して、提出してください。

- 自己推薦書 (様式1) は、記述欄下部の()に枚数を記入してください。
なお、経済学部総合型選抜 I 志願者は、様式1 (テーマ2) に添付する資料の有無について該当する方を○で囲んでください。
- 各様式最下段 () に学部, 学科, 課程, コース, 経済学部区分, 工学部区分をもれなく記入してください。
- 新型コロナウイルス感染症対策の影響により、部活動等の大会や資格・検定試験等の成果に関する書類等を提出できない場合も、必要に応じてその成果獲得に向けた努力のプロセス等を「自己推薦書 (様式1)」に記載してください。
なお、学部によっては、記載方法等を指定している場合がありますので、志望する学部の「自己推薦書」, 「諸活動の記録」記載要領を必ず確認してください。
また、記載内容については他の出願書類と併せて総合的に評価します。

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

令和5年度 長崎大学総合型選抜Ⅰ（多文化社会学部） 「自己推薦書」，「諸活動の記録」記載要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次のテーマについて記述してください。記述の際は，様式上部のテーマ欄に「志望理由」と記載のうえ，記述してください。]

テーマ 志望理由

- ・長崎大学多文化社会学部を志望する理由について，①志望コースの特徴，②入学後に学びたいこと，③長崎大学多文化社会学部を卒業後にどのような進路を考え，社会に貢献したいか，を踏まえて記述してください（1200字以内）。

II. あなたの諸活動の記録（活動の成績，資格・検定・段位）を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式2-i, ii：あなたが行った主要な活動について，分野別，年月日順に記載してください。分野は「文化」，「スポーツ」，「生徒会，学級内の委員・係等」，「その他ボランティア活動等」です。記入する事項が多い場合は，該当する項目が含まれている用紙をA4判に必要な枚数だけコピーし，記入してください。

- ①「文化」，「スポーツ」，「その他ボランティア活動等」に関しては，活動場所が高等学校等の校内か校外かを問いませんが，活動場所を明確にするために，記入する項目を（校内）と（校外）に分けてわかりやすくまとめてください。
 - (1) 2日以上の場合，開始年月日を記載し，カッコ欄に終了年月日も記載してください。
 - (2) 成績が事実であることを証明する書類（表彰状，新聞等の記事，論文，その他）のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。
 - (3) 団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記入してください。
 - (4) 証明書類がどの活動の成績に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-i, iiの項目番号（右下に記入）を付けてください。
- ②「生徒会，学級内の委員・係等」は，高等学校等における活動に限定します。また，高等学校等教諭の署名を必要とします。

様式2-iii：あなたが持っている主要な資格・検定・段位（出願要件となっている外国語検定試験を含む。）を記載してください。

- ① 資格・検定・段位が事実であることを証明する書類（TOEFL, TOEIC, 英検, IELTS, GTEC, TEAP等の成績証明書，各種資格取得証明書等）のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。
- ② 証明書類がどの資格・検定・段位に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-iiiの項目番号（右下に記入）を付けてください。
- ③ 記入する事項が多い場合は，A4判に必要な枚数だけコピーし，記入してください。

令和5年度 長崎大学総合型選抜Ⅰ（経済学部）
「自己推薦書」記載要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次の2つのテーマについてそれぞれ記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には次のテーマをそれぞれ記載してください。]

テーマ1 自己の将来目標並びに志望理由

- ・①自己の将来目標（大学卒業後どのように活躍したいか），②これまでに学んできたこと又は経験してきたことを踏まえ，入学後に経済学部で学びたいことを含めた志望理由を記述してください（800字以内）。

テーマ2 これまでに努力してきたこと

- ・①何を目標とし，②目標達成のため具体的にどのような努力をしてきたのか，③主体的にどのような創意・工夫を行ったか，この①から③について，以下の6分野を参考に記述してください。大会や資格・検定試験等について記載する場合は名称や開催時期を明記してください（800字以内）。
- ・成績や活動が事実であることを証明する書類（表彰状，新聞等の記事，論文，その他）がある場合はコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。

【分野】

- ・ 文化
- ・ スポーツ
- ・ 生徒会，学級内の委員・係等
- ・ その他ボランティア活動等（国際交流活動，海外留学等を含む。）
- ・ 資格・検定・段位
- ・ 社会人としての経験

令和5年度 長崎大学総合型選抜Ⅰ（工学部） 「自己推薦書」記載要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次のテーマについて記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には「志望理由」と記載してください。]

テーマ 志望理由

- ・長崎大学工学部工学科を志望する理由について，①志望コースの特徴，②入学後に学びたいこと，③長崎大学工学部を卒業後（大学院に進学する場合は大学院修了後）にどのような仕事に従事し社会に貢献したいか，を踏まえて記述してください（800字以内）。

様式2-i, ii：工学部においては提出の必要はありません。

様式2-iii：工学部においては提出の必要はありません。

令和5年度 長崎大学総合型選抜Ⅰ（水産学部）
「自己推薦書」，「諸活動の記録」記載要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次のテーマについて記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には「志望理由」と記載してください。]

テーマ 志望理由

・長崎大学水産学部を志望する理由について，記述してください（1200字以内）。

II. あなたの諸活動の記録（活動の成績，資格・検定・段位）を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式2-i, ii：あなたが行った主要な活動について，分野別，年月日順に記載してください。分野は「文化」，「スポーツ」，「生徒会活動，学級内の委員・係等」，「その他ボランティア活動等」です。「文化」，「スポーツ」，「その他ボランティア活動等」に関しては，活動場所が高等学校等の校内か校外かを明確にするために，記入する項目を（校内）と（校外）に分けてわかりやすくまとめてください。**成績が事実であることを証明する書類のコピー（A4判，縮小・拡大可）を必ず添付してください。**団体活動の場合，団体におけるあなたの役割を簡潔に記入してください。証明書類がどの活動の成績に対応するか判別できるように，必ず証明書類に様式2-i, iiの項目番号（右下に記入）を付けてください。とくに生徒会活動については，高等学校等教諭の署名が必要です。記入する事項が多い場合は，該当する項目が含まれている用紙をA4判に必要な枚数だけコピーしてください。

様式2-iii：あなたが持っている主要な資格・検定・段位を記載してください。**資格・検定・段位が事実であることを証明する書類のコピー（A4判に縮小・拡大してください）を必ず添付してください。**証明書類がどの資格・検定・段位に対応するか判別できるように，必ず証明書類に様式2-iiiの項目番号（右下に記入）を付けてください。記入する事項が多い場合は様式2-iiiを必要部数コピーし，記入してください。

令和5年度 長崎大学総合型選抜Ⅱ（教育学部） 「自己推薦書」，「諸活動の記録」記載要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身が黒ボールペンを用いて記述してください。

様式1：[次の2つのテーマについてそれぞれ記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には次のテーマをそれぞれ記載してください。]

テーマ1 志望理由

- ・現代の教育課題をふまえて，あなたが目指す教員像を示してください。その上で，あなたが，長崎大学教育学部小学校教育コースを志望する理由を記述してください（400字以内）。

テーマ2 努力してきたことや得意なこと

- ・高校生の時あるいは現在(中学校卒業以降)，あなたが努力してきたことや，得意なことについて，説明してください。説明の中で様式2に挙げた事項に関連することは，項目番号で示してください。その上で，それが，現在のあなた自身にどのように影響しているかを記述してください（800字以内）。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の影響により，部活動等の大会や資格・検定試験等の成果に関する書類等を提出できない場合も，必要に応じその成果獲得に向けた自律的な努力のプロセス等を，このテーマ2内に記載することができます。

* テーマ1並びにテーマ2に記述した内容は，第2次選考で行う「面接（自己表現を含む。）」で，詳しく説明できるものとします。

II. 自己推薦書 テーマ2に関連するあなたが高校生の時（中学校卒業以降）に行った諸活動の記録（活動の成績，資格・検定・段位）を，下記要領に従って，あなた自身が黒ボールペンを用いて記述してください。

様式2-i：A「文化」及びB「スポーツ」の分野におけるあなたが行った主要な活動の成績について，分野別，年月日順に，各分野3件以内で記載してください。なお，活動場所は，高等学校等の内か外かを問いません。

- (1) 2日以上の場合，開始年月日を記載し，カッコ内に終了年月日も記載してください。
- (2) 成績が事実であることを証明する書類をA4判でコピーし，必ず添付してください。
- (3) 団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記載してください。
- (4) 証明書類がどの活動の成績に対応するかを判別できるように，証明書類に様式2-iの項目番号（右下に記入）を付けてください。

様式2-ii：C「生徒会活動，学級内の委員・係等」及びD「その他ボランティア活動等」の分野におけるあなたが行った主要な活動の成績について，分野別，年月日順に，各分野3件以内で記載してください。

- ① C「生徒会活動，学級内の委員・係等」の活動については，高等学校等における活動に限定します。高等学校等教諭の署名が必要です。
- ② D「その他ボランティア活動等」の活動に関しては，活動場所が高等学校等の内か外かを問いません。
 - (1) 2日以上の場合，開始年月日を記載し，カッコ内に終了年月日も記載してください。
 - (2) 成績が事実であることを証明する書類をA4判でコピーし，必ず添付してください。
 - (3) 団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記載してください。
 - (4) 証明書類がどの活動の成績に対応するかを判別できるように，証明書類に様式2-iiの項目番号（右下に記入）を付けてください。

様式2-iii：あなたが持っている主要なE「資格・検定・段位」について，3件以内で記載してください。資格・検定・段位が事実であることを証明する書類のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。証明書類がどの資格・検定・段位に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-iiiの項目番号（右下に記入）を付けてください。

様式2-iv：F「その他（研究や探究活動，芸術・文化活動等）」には，様式2-i，ii，iiiに該当しない，その他の活動について，3件以内で記載してください。活動場所が高等学校等の内か外かを問いません。

- (1) 調査報告書や研究論文等については，A4判でコピーのうえ，表紙に氏名，発表場所，単独執筆か共同執筆かの別を記載し（共同執筆の場合はあなたが執筆した箇所を明記してください。），その事実を証明する書類も添付してください。提出できる枚数は表紙と証明書類を含め15枚（片面印刷）を上限とし，ページ番号を付けてください。
- (2) 芸術・文化活動等については，それが事実だとわかる写真等が入った資料を証明書類として提出してください。
- (3) 団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記載してください。
- (4) 証明書類がどの活動に対応するかを判別できるように，証明書類に様式2-ivの項目番号（右下に記入）を付けてください。

令和5年度 長崎大学総合型選抜Ⅱ（経済学部）
「自己推薦書」，「諸活動の記録」記載要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次の2つのテーマについてそれぞれ記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には次のテーマをそれぞれ記載してください。]

テーマ1 経済学部の特徴と卒業後の進路を踏まえた志望理由

- ・志望するコースや教育プログラム等の特徴を踏まえて，①入学後に経済学部で学びたいこと，②大学でどのように学び（またはどのような学生生活を送り），それを活かして卒業後どのように活躍したいと考えているか，を記述してください（800字以内）。

テーマ2 これまでに努力してきたこと

- ・①何を目標とし，②目標達成のため具体的にどのような努力をしてきたのか，を簡潔に記述してください。部活動等の大会や資格・検定試験が中止・延期となり，その結果等が様式2-i，ii，iiiに記載できない諸活動がある場合は，中止となった大会や検定等の名称や開催時期を明記してください。記載する活動が複数ある場合には，特に頑張ったものを二つまで記載してください（400字以内）。

II. あなたの諸活動の記録（活動の成績，資格・検定・段位）を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式2-i，ii：あなたが行った主要な活動について，分野別，年月日順に記載してください。分野はA「文化」，B「スポーツ」，C「生徒会，学級内の委員・係等」，D「その他ボランティア活動等（国際交流活動，海外留学等を含む。）」です。記入する事項が多い場合は，該当する項目が含まれている用紙をA4判に必要な枚数だけコピーし，記入してください。

- ①(1)2日以上の場合，開始年月日を記載し，カッコ欄に終了年月日も記載してください。
(2)成績や活動が事実であることを証明する書類（表彰状，新聞等の記事，論文，その他）のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。(3)団体活動の場合，団体におけるあなたの役割・分担等を簡潔に記入してください。(4)証明書類がどの記載に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-i，iiの項目番号（右下に記入）を付けてください。
- ②C「生徒会，学級内の委員・係等」は，高等学校等における活動に限定します。また，高等学校等教諭の署名を必要とします。

様式2-iii：あなたが持っている主要な資格・検定・段位（同一項目で複数の級や段位を持っている場合は，最上位のもののみ。）を記載してください。資格・検定・段位が事実であることを証明する書類（英検・TOEFL・TOEIC等の成績証明書，各種資格取得証明書等）のコピー（A4判に縮小・拡大してください。）を必ず添付してください。証明書類がどの資格・検定・段位に対応するか判別できるように，証明書類に様式2-iiiの項目番号（右下に記入）を付けてください。記入する事項が多い場合は，A4判に必要な枚数だけコピーし，記入してください。

令和5年度 長崎大学総合型選抜Ⅱ（歯学部） 「自己推薦書」記載要領

I. 自己推薦書を，下記要領に従って，あなた自身で黒ボールペンを用いて書いてください。

様式1：[次のテーマについて記述してください。記述の際は，テーマの下に書かれていることをよく読み，その指示に従ってください。様式上部のテーマ欄には「志望理由」と記載してください。]

テーマ 志望理由

- ・長崎大学歯学部の志望理由について，あなたの目指す歯科医師像を踏まえて記述してください（800字以内）。

様式2-i, ii：歯学部においては提出の必要はありません。

様式2-iii：歯学部においては提出の必要はありません。

共 通 様 式

氏 名	
-----	--

諸活動の記録（様式2-i）

A 「文化」

項目 番号	年 月 日	懸賞論文・コンクール・展覧会等の名称	主催機関	成 績	団体活動の場合、 団体におけるあなたの役割
例 A-1	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				

B 「スポーツ」

項目 番号	年 月 日	競 技 大 会 等 の 名 称	主催機関	成 績	団体活動の場合、 団体におけるあなたの役割
例 B-1	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				
	年 月 日 (～ 年 月 日)				

様式2-i () 枚のうち () 枚目

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

(長崎大学

学部

学科

課程

コース)

氏 名	
-----	--

諸活動の記録（様式2-ii）

C 「生徒会活動，学級内の委員・係等」

項目番号	期 間	学年	活動内容（役割等）	高等学校等教諭の署名
例 C-1	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日			
	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日			
	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日			
	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日			

※高等学校等教諭の証明欄には，証明者の署名を忘れないこと。

D 「その他ボランティア活動等」

項目番号	年 月 日	大会等の名称	主催者など	開催地	成績	団体活動の場合， 団体における あなたの役割
例 D-1	年 月 日 (～ 年 月 日)					
	年 月 日 (～ 年 月 日)					
	年 月 日 (～ 年 月 日)					
	年 月 日 (～ 年 月 日)					

様式2-ii () 枚のうち () 枚目

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

(長崎大学

学部

学科
課程

コース)

氏 名	
-----	--

諸活動の記録（様式2-iii）

E「資格・検定・段位」

項目 番号	取得年月日	資格等の名称	資格等のレベル (○級・○ 段・○点等)	資格等認定 機関の名称	資格等認定機関の 住所と電話番号
例 E-1	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				

様式2-iii () 枚のうち () 枚目

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

(長崎大学

学部

学科
課程

コース)

(教育学部)

氏名	
----	--

諸活動の記録 (様式 2 -iv)

F 「その他 (研究や探究活動, 芸術・文化活動等)」

項目番号	期 間	学年	活動内容 (役割等)
F-1	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日		
F-2	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日		
F-3	(開始年月日) 年 月 日 (終了年月日) 年 月 日		

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は記入しないこと。

(多文化社会学部 グローバル枠志願者のみ)

氏名

 課題研究報告書

人文社会科学の観点から取り組んだグローバルな課題研究について、志願者が個人の役割において貢献した成果を具体的かつ明確に記述してください（1000字以内）。なお、以下の1～3の内容について順に記述すること。

1. 課題研究の目的

（課題の目的はなにで、どこまで明らかにしようとした課題研究なのかを記述すること。）

2. 研究方法

（どのように研究課題に取り組んだのか、自分が実施した研究方法について記述すること。）

3. 考察及び結果

（どこまでがこれまでの研究で明らかにされたことであり、どの点が自分で考察した結果なのか、そのプロセスを丁寧に記述すること。）

注) 添付資料がある場合には引用しても良い。

学校が設定したテーマ

--

あなたが取り組んだテーマ

--

(この欄は100字)

課題研究報告書の作成枚数 () 枚のうち (1) 枚目 添付資料の有無 (有 無)

受付番号※

受験番号※

※欄は、記入しないこと。

(多文化社会学部 グローバル枠志願者のみ)

氏 名

課題研究報告書

(この欄は 400 字)

課題研究報告書の作成枚数 () 枚のうち (2) 枚目 添付資料の有無 (有 無)

受付番号※

受験番号※

※欄は、記入しないこと。

(多文化社会学部 グローバル卒志願者のみ)

氏 名	
-----	--

課題研究報告書

(この欄は100字)

課題研究報告書の作成枚数 () 枚のうち (4) 枚目 添付資料の有無 (有 無)

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は、記入しないこと。

氏 名	
-----	--

活動報告書

過去3年間（又は中学校卒業後）にあなたが関わった活動について、下記の項目を踏まえて自身が経験したことや考えたことを黒ボールペンで記述してください。（600字程度）

（項目）

- ・活動の内容について（主催者，時期，期間等の内容を具体的に詳しく記述してください。）
- ・活動におけるあなたの役割について
- ・活動で成し遂げることができたことや活動を行う中で最も苦勞したことについて
- ・活動があなたに与えた影響などについて

（備考）

1. あなた自身の素養を高めるものや素質を活用したものであれば，活動の内容は問いません。
2. 活動を行ったことが証明できる資料（証明書，修了証，その他その活動を行ったことを示すもの）があれば，添付してください。
3. あなたが関わった活動をリストアップするものではありません。

（この欄は 200 字程度）

添付資料の有無（ 有 無 ）

受付番号※	受験番号※
-------	-------

※欄は，記入しないこと。

大学入学共通テスト指定教科・科目確認表(総合型選抜Ⅱ)

志望する学部・学科等により大学入学共通テストの指定教科・科目が異なるので、十分確認すること。
 なお、大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ、本学・学部に出願できないので、十分注意すること。

○印は必須科目を表す。選択科目は選択範囲及び選択数に留意すること。

大学入学共通テスト 教科・科目等		地理歴史							公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語						
		国語	世界史A	日本史A	地理A	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学A	数学II	数学B	情報関係基礎	簿記・会計	地学基礎	化学基礎	生物基礎	物理基礎	地学	化学	生物	物理	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
教育学部	小学校教育コース	○	1又は2選択(注1)(注2)							1選択				1又は2選択(注1)				1選択															
経済学部	総合経済学科		(注3)																(注3)														
歯学部	歯学科	○										○			○																		

※ 基礎を付した理科の科目については、2科目選択で1科目とみなす。

- 注1) 地理歴史・公民から2科目及び理科から1科目選択、又は地理歴史・公民から1科目及び理科から2科目選択の合計3科目選択となる。
 2) 地理歴史・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。
 3) 国語、地理歴史・公民、数学①(数学Iを除く。)、数学②、理科、外国語から2科目選択。

令和5年度大学入学共通テスト受験教科・科目チェック表

(受験した教科・科目全てに○印を付けて確認すること。)

大学入学 共通テスト 教科・科目等		地 歴							公 民				数学①		数 学 ②				理 科 ①				理 科 ②				外 国 語				
		国語	世界史A	日本史A	地理A	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学A	数学II	数学B	情報関係基礎	簿記・会計	地学基礎	化学基礎	生物基礎	物理基礎	地学	化学	生物	物理	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
受験した科目																															

総合型選抜以外の 募集要項 公表時期

一般選抜学生募集要項 (11月下旬公表)	
学校推薦型選抜学生募集要項 (9月上旬公表)	<p>※ 左記の時期に下記のURLに募集要項を掲載いたします。 (掲載先URL) https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/selection/</p>
帰国生徒選抜学生募集要項 (9月上旬公表)	<p>※ 冊子等の紙媒体での配布等はいたしません。 出願書類準備の際は、各自でご準備ください。</p>
社会人選抜学生募集要項 (9月上旬公表)	<p>※お問い合わせ先 〒 852-8521 長崎市文教町 1 番 1 4 号 長崎大学学生支援部入試課 TEL. 095-819-2111 FAX. 095-819-2112</p>
外国人留学生選抜学生募集要項 (9月上旬公表)	